

令和元年度実施分  
協働事業・市民活動助成事業 報告書

## 目 次

### ■令和元年度実施分 協働事業

No.	区分	事業名	実施団体・担当課	ページ
1	2年目	災害時要配慮者支援事業	小金原地区会(小金原連合町会)防災部 危機管理課	2
2	2年目	公共サイン改善事業	公共サイン研究会 都市計画課	12
3	3年目	子どもたちがつくる青少年会館居場所事業	だいすき松戸！子どもフェスティバル実行 委員会 生涯学習推進課(青少年会館)	22

### ■令和元年度実施分 市民活動助成事業

No.	区分	事業名	実施団体	ページ
<b>■スタート助成</b>				
1	2回目	「甚左衛門の森」保全育成事業	松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」	36
2	新規	学習支援と食の提供による子どもの居場所作り事業	まんぶく小屋	44
3	新規	子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業	なないろのもり	50
4	新規	音楽活動による街の活性化事業	松戸音楽活動同好会	56
5	新規	みんなで楽しもう秋のお出かけ事業	認定特定非営利活動法人たすけあいの 会ふれあいネットまつど	64
6	新規	野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談 会事業	松戸地域猫スタートサポート	70
7	新規	ブレママ教室事業	ぶぶぶママ大学	76
8	新規	マジック演技を通し高齢者に元気をあたえる事業	和気あいあいマジッククラブ会	84
9	新規	音楽活動による地域交流事業	Ensemble Ponte	90
10	新規	小学生の夢を育む放課後改革/情報サポート事業	MIRAIのしるし	98
<b>■ステップアップ助成</b>				
1	新規 (スタート 2回済 み)	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	106
2	2回目 (スタート 2回済 み)	生活圏に「お節介な友達作り」活動推進事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	112
3	新規	市民の権利擁護に関する啓蒙普及事業	一般社団法人コスモス成年後見サポート センター千葉県支部	120



## 令和元年度協働事業一覧

No.	区分	事業名	団体名	担当課	予算額		決算額	精算額
					総事業費	負担金申請額		
1	2年目	災害時要配慮者支援事業	小金原地区会(小金原連合町会)防災部	危機管理課	¥700,000	¥500,000	¥400,710	¥140,226
2	2年目	公共サイン改善事業	公共サイン研究会	都市計画課	¥181,270	¥163,000	¥197,342	¥2,559
3	3年目	子どもたちがつくる青少年会館居場所事業	だいき松戸！子どもフェスティバル実行委員会	生涯学習推進課 (青少年会館)	¥260,000	¥234,000	¥262,383	¥0

# 災害時要配慮者支援事業

小金原地区会(小金原連合町会)防災部

危機管理課

# 活動状況報告書

1 事業名称 災害時要配慮者支援事業

2 実施主体

■団体名： 小金原地区会（小金原連合町会）防災部

従事者数： 32名

団体概要： 設立年月日：平成28年 5月 20日

構成員・社員数：地区会代表者21人、防災リーダー64人（兼務有り）

団体の目的：①小金原地区住民の防災意識普及のため、松戸市をはじめ各種団体と連携して、安全・安心な街づくりに貢献する。

②小金原地区自主防災訓練を主導的に計画し実施する。

③広域災害の発生に対処した事案を協議し、町会及び自主防災組織や地区社協又は指定避難所管理者と連携して災害被害の減災や円滑な避難所運営に寄与する。

■事業担当課： 危機管理課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・「防災フェア」（9/22）開催に当たって、実行委員会を立ち上げ、同時開催の「小金原フェスタ」の実行委員会のメンバーとの合同打ち合わせを実施。
- ・「防災フェア」（9/22）開催に当たって、小金原地区会での会議で、概要説明及び所属各町会（18町会）からのスタッフ派遣依頼。
- ・「講演会」（1/12）開催に当たって、講師への依頼及び講演料の交渉。
- ・「講演会」（1/12）開催に当たって、展示ブースへの参加会社・団体への出展依頼。

■担当課の役割

- ・「防災フェア」（9/22）での展示協力。
- ・「講演会」（1/12）での展示協力。
- ・「要配慮者支援会議」（2/20）開催に当たって、行政側の関係部署に参加要請。

4 事業の内容

「小金原地区防災フェア」（9/22）の実施

日付	作業内容
5月4日(土)	第1回実行委員会開催

6月29日(土)	「小金原地区防災フェア」と同じ日に開催される「小金原フェスタ」(小金原50周年記念第1回小金原フェスタ)実行委員会のメンバーとの合同実行委員会開催
7月11日(木)	第2回実行委員会開催
7月20日(土)	「小金原フェスタ」実行委員会のメンバーとの合同実行委員会開催
7月25日(木)	チラシ作成打ち合わせ
7月26日(金)	第3回実行委員会開催
7月31日(水)	千葉県立松戸特別支援学校を訪問し、「小金原地区防災フェア」に対する学校側の参加・役割分担を依頼
8月17日(土)	小金原地区会の会議で「防災フェア」の概要につき説明
9月3日(火)	「防災フェア」ブース展示関係者による打ち合わせ
9月10日(火)	第4回実行委員会開催
9月17日(火)	第5回実行委員会開催
9月22日(日)	「防災フェア」開催 小金原体育館 参加人数:約450人(スタッフ含む) 当日の来場者数:359人(内未就学児:34人) 台風接近のため、同時開催の「小金原フェスタ」は延期されたが、記念式典のみ体育館内で開催
10月2日(水)	関係者による反省会開催

#### 「避難所部会」関係

日付	作業内容
7月1日(月)	危機管理課と共に、千葉県立松戸特別支援学校訪問 新任の近藤校長、安藤教頭に面談し、これまでの「支援学校」と「防災部」との取り組みにつき説明。
7月28日(日)	避難所部会開催。根木内中、根木内小、栗ヶ沢中、栗ヶ沢小、貝の花小の「収容避難所運営委員長」と栗防(栗ヶ沢中学地域防災委員会)推進事務局を含めた第1回目の打ち合わせ実施。 各避難所運営に関し、現状と課題などにつき議論
11月18日(月)	千葉県立特別支援学校にて開催された「地域交流会」に参加

#### 「講演会①」の実施

日付	作業内容
11月1日(金)	テーマ決定:「災害時の『食』と『トイレ』」
11月13日(水)	担当者による1/12(日)当日の運営スケジュール、内容等につき

	検討、打ち合わせ
11月25日(月)	チラシ作成打ち合わせ
11月28日(木)	講師派遣確認及び講師料の交渉 ・日本栄養士会(¥20,000)
12月9日(月)	講師派遣確認及び講師料の交渉 ・日本トイレ研究所(¥30,000)
1月12日(日)	講演会「災害時の『食』と『トイレ』」開催。(小金原市民センター) ・日本栄養士会:公益社団法人日本栄養士会 常務理事 下浦佳之氏 ・日本トイレ研究所:NPO 法人日本トイレ研究所 代表 加藤 篤氏 参加人数は約80名(スタッフ含む)。

「講演会②」の実施 <新型コロナウイルス感染防止のため会場が使用できず、中止>

日付	作業内容
1月30日(木)	内容検討
1月31日(金)	市役所・保育課に相談及び支援依頼
3月13日(金)	乳幼児支援に関し、講演会及び意見交換会「地域社会と未就学児童の防災体制 ～講義&ワークショップ～」の開催を計画するも、新型コロナウイルス感染防止のため、会場である小金原市民センターの使用が不可となったため、「延期」とし、次年度に改めて計画を立てることにした。 予定していた会場:小金原市民センター2Fホール 予定していた講師:青木八重子氏(流山子育てプロジェクト代表)

「女性部会」関係

日付	作業内容
4月26日(金)	第1回「ももの会」開催。 ・介護・福祉、子育て支援、障がい者、小学校PTA、居場所づくり、他に関係する方々が参加し、意見交換
5月24日(金)	第2回「ももの会」開催 ・小金原地区の防災活動の経緯について ・「乳幼児」を災害から守るために ・「小金原地区会防災フェア」への参加
6月21日(金)	第3回「ももの会」開催。 ・「要配慮者とは」につき、会員間での議論を進めた。
7月25日(木)	第4回「ももの会」開催。下記2件の講演会を開催。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域社会と居場所づくり」(高齢者支援課 中沢参事)</li> <li>・「松戸市子どもわかもの支援について」(子どもわかもの課 藤谷課長)</li> </ul>
9月27日(金)	<p>「ももの会」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護「サボテン」の概要について (株)アース：川井さん</li> </ul>
10月25日(金)	<p>「ももの会」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者についての勉強会</li> </ul>
11月22日(金)	<p>「ももの会」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風15号、19号を経験して</li> </ul>
1月24日(金)	<p>「ももの会」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者支援に関連する地域の課題…あなたが選ぶベストテン</li> </ul>
2月21日(金)	<p>「ももの会」開催</p>
3月27日(金)	<p>「ももの会」開催、新型コロナウイルス感染防止のためオンライン(ZOOM)での開催。</p>

#### 「専門職部会」関係

日付	作業内容
10月2日(水)	小金原地区社会福祉協議会及び小金原地区高齢者支援連絡会が主催する講演会「災害に対する備え」(場所：小金原市民センター)において、防災部・所部長が講演「小金原地区の防災」

#### 「要配慮者支援会議」の実施

日付	作業内容
2月20日(木)	<p>要配慮者支援会議開催</p> <p>地域福祉課／健康推進課／高齢者支援課／介護保険課／障害福祉課／子ども政策課／子ども家庭相談課／幼児保育課／危機管理課／小金原地区会防災部</p> <p><b>【各部署における防災上の取り組みにつき情報共有】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理課：防災機材の備蓄、防災に関する啓蒙、パートナー講座開催。</li> <li>・地域福祉課：避難行動要支援者名簿に、戸市内で約6,000名が登録。</li> <li>・高齢者支援課：松戸市内15地区で包括支援会議開催。</li> <li>・介護保険課：介護サービス事業者での避難訓練の実施。</li> <li>・障害福祉課：自助による備蓄の重要性を伝えている。又、事業所が</li> </ul>

	<p>どういふ備蓄をしているのかにつき調査。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども政策課：おやこDE広場、こども館での防災コーナー。情報の集約とスマホを使つての情報伝達。</li> <li>・こども家庭相談課：保健師が災害時にどう動くかにつき検討</li> <li>・幼児保育課：保育所では月に1回、火災・地震に関する避難訓練実施。備蓄品はアルファ米、乾物等。緊急時の連絡（引き渡しカード）に関する確認。</li> <li>・小金原地区会防災部：想定する災害で、津波の心配はないが、地震に加えて、台風のことも検討しておく必要がある。</li> </ul>
--	--

## 5 事業成果について

### (1) 事業目的及び目標の達成について

<p>①要配慮者の中でも「乳幼児」にスポットを当てた活動を計画した中で、9/22（日）に実施した「小金原地区防災フェア」では、未就学児の参加が34人と、親子で参加して防災意識を高め、体験する良い機会となった。</p> <p>②「防災活動における福祉の大切さ」に関し、千葉県立松戸特別支援学校及び同PTA、松戸市肢体不自由児者父母の会などと協力して「小金原地区会防災フェア」を開催することにより、参加者への啓蒙を実践することができた。</p> <p>③講演会①「災害時の『食』と『トイレ』」に関し、展示ブースも含めた開催内容で、参加者が約80人（スタッフ含む）となり、目標（70人以上）を達成することができた。アンケートも55人が提出し、「良かった」という回答が多かった。</p>
---

### (2) 取り組んだ課題の解決について

<p>◆解決できたこと</p> <p>①「防災＝福祉」の考え方を一般的に取り入れて貰うために、特に「小金原地区防災フェア」では、「要配慮者」のことを考慮した内容で開催することができた。</p> <p>②「福祉避難所」の整備に関しては、徐々にではあるが、千葉県立松戸特別支援学校との協力体制が構築でき、「小金原地区防災フェア」への特別支援学校側からの参加、又、特別支援学校で開催された「地域交流会」に小金原地区会防災部が参加し、協力・支援の基礎固めが進展している。</p> <p>③小・中学校のPTAとの連携という意味では、防災部の女性部会に栗ヶ沢小学校のPTA会長も参加しており、連携のスタートを切ることができた。</p> <p>◆解決できなかったこと</p> <p>①小金原DWA T（災害福祉支援チーム）の結成</p>
---

## 6 今後の事業展開

小金原DWA T（災害福祉支援チーム）の結成を目標として来たが、専門職の人達との連携がうまく進まない状況が続いている。専門職の人は、ボランティア活動での役目というよりは業務として捉える状況にあり、対価をどうするか等の決め事が必要であると感じている。行政の担当部署とも相談しながら、専門職の人が役割を担えるような仕組づくりができるようにしたい。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 572,880	¥ 427,924	¥ 144,956	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 200,000	¥ 40,936	¥ 159,064	参加町会からの会費
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 200,000	¥ 40,936	¥ 159,064	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	¥ 359,774	¥ 140,226	←精算額(松戸市へ返還)
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 700,000	¥ 400,710	¥ 299,290	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 130,000	¥ 50,000	¥ 80,000	講演会講師謝礼 日本栄養士会：20,000円、日本トイレ研究所：30,000円 3/13(金)に計画した講演・研修会は、新型コロナウイルス感染対策のため、会場が使用できず来年度に延期。
	印刷製本費	¥ 210,000	¥ 111,242	¥ 98,758	「防災フェア」のチラシ：33,026円 「講演会」のチラシ：30,702円 「要配慮者支援」チラシ：20,480円 その他コピー等印刷費：27,034円
	消耗品費①	¥ 150,000	¥ 147,980	¥ 2,020	防災啓発グッズ ①プラスチック呼び笛 1,000個：110,740円 ②防災避難用具（笛付ライト）200個：37,240円
	消耗品費②	¥ 40,000	¥ 75,329	¥ ▲35,329	事務用品、コピー用紙、インク代、他 (使用プリンター：EPSONのインクの交換頻度が多い。)
	使用料	¥ 10,000	¥ 5,265	¥ 4,735	5/4：518円、6/29：420円、7/11：1,170円、7/26：518円、 7/28：630円、9/3：210円、9/10：294円、9/17：294円、 1/12：1,211円
	通信費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	打合せに向いたり、資料を持参したりしたため、費用が発生せず。
	保険料	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	参加者の保険を検討するも、参加者個人の責任での対応とした。役割担当者は、「松戸市市民活動総合補償制度」が適用されると判断。
	食糧費	¥ 0	¥ 10,238	¥ ▲10,238	「防災フェア」当日のお茶代
		対象経費の合計 (E)	¥ 560,000	¥ 400,054	¥ 159,946
(その他) 対象外経費	食糧費	¥ 100,000	¥ 0	¥ 100,000	対象経費として積算
	備品代	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	対象経費の消耗品として積算
	備品代	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	防災用資材 別途松戸市から地区会に交付される「松戸市交付金」と重複する項目のため、使用せず。
	振込手数料	¥ 0	¥ 656	¥ ▲656	チラシ作成における振込手数料(3件)
		その他経費の合計額 (F)	¥ 140,000	¥ 656	¥ 139,344
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 700,000	¥ 400,710	¥ 299,290	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 140,226
-----	-----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 40,936	参加町会からの会費
	自己資金の合計額	¥ 40,936	
市	松戸市負担金	¥ 359,774	新型コロナウイルス感染防止のため、予定していた「3月13日(金)の講演・研修会」が実施できず、松戸市に140,226円を返還する必要有り。
	合計額	¥ 400,710	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項(用途など)
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	講演会講師謝礼 日本栄養士会：20,000円、日本トイレ研究所：30,000円 3/13(金)に計画した講演・研修会は、新型コロナウイルス感染対策のため、会場が使用できず来年度に延期。
	印刷製本費	¥ 111,242	①「防災フェア」のチラシ：33,026円 ②「講演会」のチラシ：30,702円 ③「要配慮者支援」チラシ：20,480円 ④その他コピー等印刷費：27,034円
	消耗品費①	¥ 147,980	防災啓発グッズ ①プラスチック呼び笛1,000個：110,740円 ②防災避難用具(笛付ライト)200個：37,240円
	消耗品費②	¥ 75,329	紙コップ、下足袋、収納BOX1個、USBメモリ1個、プロジェクターとパソコン接続ケーブル1本：15,751円。コピー用紙、事務用品、名刺作成：3,745円。インク代：55,833円(使用プリンター：EPSONのインク【イチョウ】の交換頻度が多い。)
	使用料	¥ 5,265	①5/4小金原市民センター会議室：518円、②6/29小金原体育館和室A：420円、③7/11小金原体育館会議室A：1,170円、④7/26小金原市民センター会議室：518円、⑤7/28小金原体育館会議室A：630円、⑥9/3小金原体育館会議室A：210円、⑦9/10小金原市民センター和室：294円、⑧9/17小金原市民センター和室：294円、⑨1/12小金原市民センター茶室：1,211円
	通信費	¥ 0	打合せに出向いたり、資料を持参したりしたため、費用が発生せず。
	保険料	¥ 0	参加者の保険を検討するも、参加者個人の責任での対応とした。役割担当者は、「松戸市市民活動総合補償制度」が適用されると判断。
	食糧費	¥ 10,238	「防災フェア」当日のお茶代：2L×6本入の段ボール箱を10箱
		対象経費の合計	¥ 400,054
その他経費	食糧費	¥ 0	対象経費として積算
	備品代	¥ 0	対象経費の消耗品として積算
	振込手数料	¥ 656	①「防災フェア」チラシ作成費用振込手数料：216円、②講演会「災害時の『食』と『トイレ』」チラシ作成費用振込手数料：220円、③要配慮者支援チラシ(乳幼児対象)作成費用振込手数料：220円
		その他経費の合計	¥ 656
	合計額	¥ 400,710	

## 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×868円
	「防災フェア」実行委員会及び反省会 (5/4、7/11、7/26、9/3、9/17)	34,720 円	4 人 × 2 h × 5 回 × 868 円
	「小金原フェスタ」実行委員会メンバーとの打ち合わせ (5/11、6/29)	6,944 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 868 円
	小金消防署との打ち合わせ (5/17、9/2)	3,472 円	2 人 × 1 h × 2 回 × 868 円
	チラシ作成 (防災フェア、講演会) 打ち合わせ (7/25、11/25)	3,472 円	2 人 × 1 h × 2 回 × 868 円
	避難所部会会議 (7/28)	12,152 円	7 人 × 2 h × 1 回 × 868 円
	小金原地区会会議で、「防災フェア」内容説明 (8/17)	3,472 円	2 人 × 2 h × 1 回 × 868 円
	「防災フェア」準備 (所、細田) 9/10、他	13,888 円	2 人 × 2 h × 4 回 × 868 円
	小金原地区防災フェア (9/22)	166,656 円	32 人 × 6 h × 1 回 × 868 円
	1/12 開催「講演会」準備打ち合わせ (11/13)	2,604 円	3 人 × 1 h × 1 回 × 868 円
	千葉県立松戸特別支援学校「地域交流会」 (11/18)	1,736 円	2 人 × 1 h × 1 回 × 868 円
	講演会「災害時の『食』と『トイレ』」準備 (所、細田)	13,888 円	2 人 × 2 h × 4 回 × 868 円
	講演会「災害時の『食』と『トイレ』」 (1/12)	26,040 円	5 人 × 6 h × 1 回 × 868 円
	女性部会「ももの会」の会議 (4/26、5/24、6/21、7/25、9/27、10/25、11/22、1/24、2/21)	117,180 円	10 人 × 1.5 h × 9 回 × 868 円
	女性部会「ももの会」の会議 (3/27) 新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン (ZOOM) を使った遠隔会議開催	2,604 円	2 人 × 1.5 h × 1 回 × 868 円
	「ふりかえり会議」資料まとめ	13,888 円	1 人 × 4 h × 4 回 × 868 円
	最終報告書のまとめ	5,208 円	1 人 × 2 h × 3 回 × 868 円
	合 計 (A)	427,924 円	

公共サイン改善事業

公共サイン研究会

都市計画課

# 活動状況報告書

1 事業名称 公共サイン改善事業

2 実施主体

■団体名：公共サイン研究会

従事者数：34名

団体概要：公共サインの改善を通して松戸のまちのジャンプアップにつなげることを活動コンセプトとしている。具体的には、松戸のまちの歴史的な背景や景観といった観点から地域の特徴を掘り下げ、アイデンティティを顕在化・共有化する活動を通して、地域に合った公共サインの在り方を探る活動を行っている。

■事業担当課：都市計画課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ①「公共サイン定期便」の企画・制作・発行・配布
- ②「ワークショップ（WS）」の企画・運営
- ③「基礎資料」のためのデータ作成・編集
- ④公共サインの景観協議対象化に関連する活動資料取り纏め・提供

■担当課の役割

- ①「公共サイン定期便」への寄稿・情報提供・公共施設への配架・市民からの意見受付
- ②「ワークショップ（WS）」の事務局・市HPの提供（団体リンク）
- ③「基礎資料」のための情報提供
- ④事業内容及び実施状況について松戸市景観形成庁内調整会議での共有、公共サインの景観協議の対象化に向けた協議フローの作成

4 事業の内容

## I 公共サイン定期便の発行

日付	作業内容
4月15日	チーム配属決定、令和元年度の目標設定
5月中旬～	ホームページ随時更新
7月上旬～	定期便第1号作成開始、都市計画課と随時打合せ
9月19日	定期便第1号発行

11月5日	定期便第2号発行
12月27日	定期便第3号発行
3月2日	定期便第4号発行

## Ⅱ 公共サインワークショップ

日付	作業内容
4月15日	チーム配属決定、令和元年度の目標設定
5月14日	ワークショップ企画打合せ、常盤平地区日程調整
5月14日～7月	ワークショップ企画内容調整、日程・会場等決定
6月4日	常盤平地区の事前調査フィールドワーク実施
6月上旬	常盤平地区のワークショップポスター作成・配布
6月10日	流通経済大学の学生に向け、ワークショップの開催を告知
6月27日	常盤平市民センター（会場）下見
7月4日～6日	常盤平地区ワークショップ@常盤平市民センター；4日座談会（参加者20名）、6日街歩き（参加者21名）
7月8日	常盤平地区ワークショップ振り返り
8月～11月	ワークショップ企画内容調整、日程・会場等決定
9月～10月15日	小金地区のワークショップポスター作成・配布
10月16日	小金地区の事前調査フィールドワーク実施・会場下見
11月13日～16日	小金地区ワークショップ@小金市民センター；13日座談会（参加者12名）、16日街歩き（参加者13名）
1月～3月	令和元年度基礎資料作成・取り纏め

## Ⅲ 基礎資料作成

日付	作業内容
4月15日	チーム配属決定、令和元年度の目標設定
5月14日	基礎資料 調査内容・方針等打合せ
5月14日	机上調査開始
5月23日	松戸市景観アドバイザーと打合せ
10月11日	海老名市へヒアリング調査実施
11月28日	さいたま市へヒアリング調査実施
12月13日	令和元年度基礎資料取り纏め方法打合せ
1月～3月	令和元年度基礎資料作成・取り纏め

#### IV 景観協議対象化に向けたフローの作成

日 付	作 業 内 容
10月～1月	資料収集
2月上旬	打ち合わせ・フロー作成
1月～3月	令和元年度基礎資料作成・取り纏め

#### V 戸定邸誘導サイン勉強会の開催

日 付	作 業 内 容
7月18日	企画打合せ、方針検討
7月18日～9月	勉強会日程、会場調整
7月22日～9月	誘導サインデザイン検討
7月30日	実地調査①
8月27日	実地調査②・サイン設置場所検討
9月～	関係者へ広報・周知
10月17日	景観アドバイザーによる公共サイン勉強会開催 講師：カラープランニングセンター 代表取締役 田邊学氏 参加者：計14名（講師含む）
1月～3月	令和元年度基礎資料作成・取り纏め

#### VI その他活動

当初計画していた事業内容に加え、以下のような活動も積極的に行った。

##### i. 「みどりの回廊ワーキンググループ」での活動実施

平成30年度に引き続き、松戸エリアにおける様々な学生団体の連携として、地域とのより良い関係づくりと、活動の発展、持続性の向上を目的にワーキンググループとして活動を行った。主な活動内容としては、月に1回地域への活動内容の発信として「みどりの回廊通信」を発行、各団体の活動及び今後の連携について地域の方々に知っていただくためのポスター展示実施等である。

##### ii. JUDI 都市環境デザイン会議での研究発表

令和元年11月2日に日本大学駿河台キャンパスにて開催された、JUDI 都市環境デザイン会議関東ブロック大会第6回研究発表会にて、公共サイン研究会の活動及び研究内容に関する口頭発表を行い、優秀賞を獲得した。

##### iii. 日本造園学会関東支部大会での研究発表

令和元年11月23日、24日に千葉大学松戸キャンパスにて開催された、日本造園学会関東支部大会にて、公共サイン研究会の活動及び研究内容に関する口頭発表1件、ポスター発表1件を行った。

## 5 事業成果について

### (1) 事業目的及び目標の達成について

【事業目的①活動の普及に努め、市民と共に公共サインについて考えることを通して「今よりもっと住みやすい松戸」を考える】については、昨年度同様、定期便の発行やホームページによる情報発信と、ワークショップを通して、地域の特徴を掘り下げ、地域の方々や史談会との関係構築ができたことから、ある程度の達成を感じている。

【事業目的②松戸市の街全体のイメージアップにつながるサインデザインガイド策定の一部に寄与する資料として、活動を通して得た地域の声をデータとして取りまとめ、行政及び市民へのフィードバックを行う。】については、ワークショップの参加者に対してアンケートを行い、公共サインに対する市民の多様な意見を得ることができた。

【事業目標①公共サイン定期便の発行を年間4回以上行う】については、定期便を9月、11月、12月、3月に発行することができ、年度の終盤に偏ってしまう結果となったが目標を達成することができた。

【事業目標②WSは地域毎に行うが、各地域共通のディスカッション項目を3つ以上設定する】については、歴史・文化・景観の3つのテーマを主軸に公共サインを見つめなおし、地域の魅力の再発掘とサインに対する意見の収集を試みており、目標は達成したと感じている。

【事業目標③住民と学生で共に行う各地域のWSを計3回以上開催する】については、ワークショップの対象地は「水とみどりと歴史の回廊マップ」に基づき選定し、昨年度実施の松戸、上本郷、矢切を除く常盤平、北小金、南小金を対象地にした。その際、北小金と南小金に関しては、JR北小金駅で南北に分けるのではなく、一つの地区として見るべきであると考え、小金地区として南北合わせてワークショップを開催とした。これにより、「水とみどりと歴史の回廊マップ」で選定されている6地区においてワークショップを開催することができた。

## (2) 取り組んだ課題の解決について

【解決できたこと】地域によって、公共サインの課題は多様であることがわかり、それを踏まえて多様な視点を持ってサイン整備を進める必要があることが参加市民と共有することができた。また、サインの設置場所に関しても、実際の街歩きなどを通して、見づらくなっているものや設置数を減らす取り組みが求められることがわかった。これは、ワークショップにて、アイデンティティについて歴史や文化、景観といった多様な側面から掘り下げ、参加市民と共有できたことによると考えられる。

【解決できなかったこと】サインに対する市民の興味関心や課題意識を広めることについては、まだ解決には至っていないと言える。昨年度に比べ、学会活動や他自治体への訪問、史談会への協力など、活動の幅が広がる部分もあったが、公共サインは「市民・地域のもの」であり、市内の景観改善や地域アイデンティティを創出するうえでの価値があることを十分に伝えきれていないのが現状であると感じている。

## 6 今後の事業展開

公共サインを単独のテーマとするだけでは、市民の関心を集めて公共サイン改善に関する活動の意義を広めることは難しいということが分かった。そのため、多くの市民が関心を持ちやすい歴史や文化、バリアフリー、まちづくり、コミュニティづくり等のテーマに基づいて多様な活動を行っている市民団体と連携し、それらの観点と公共サインというものがどのように結びつき、地域での生活に関連しているか、ということ伝えることができるような活動の方向性を考えていきたい。また、未だに活動の中に取り込めていない小学生や中高生などにも関心を持ってもらえるよう活動を広げていきたい。今後も都市計画課との繋がりを維持し、松戸の景観改善にむけた取組を推進したい。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 442,680	¥ 372,372	¥ 70,308	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 6,270	¥ 36,901	¥ ▲30,631	経費の一部を団体の会計から拠出
	ワークショップ参加費	¥ 12,000	¥ 0	¥ 12,000	参加費については徴収しませんでした
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 18,270	¥ 36,901	¥ ▲18,631	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 163,000	¥ 160,441	¥ 2,559	←精算額
	合計額 (D) = (B + C)	¥ 181,270	¥ 197,342	¥ ▲16,072	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 120,000	¥ 20,000	¥ 100,000	講師謝礼 勉強会 1回 (10月)
	消耗品費	¥ 1,500	¥ 5,280	¥ ▲3,780	事務用紙
		¥ 18,360	¥ 134,970	¥ ▲116,610	プリンタトナー、イメージドラム
		¥ 6,000	¥ 1,030	¥ 4,970	ワークショップ用消耗品 紙コップ、両面テープ
		¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	ポスター展示用パネル 団体に所有していたものを使用したため、購入せず
		¥ 15,000	¥ 2,916	¥ 12,084	活動に関する書籍
		¥ 0	¥ 602	¥ ▲602	ラベルシール
	食糧費	¥ 6,000	¥ 4,510	¥ 1,490	ワークショップ参加者用 お茶・ジュース・お菓子
	使用料	¥ 4,000	¥ 0	¥ 4,000	ワークショップの会場使用料 市の公用で使用したため未支出
	通信運搬費	¥ 410	¥ 8,960	¥ ▲8,550	切手代
				¥ 0	
		対象経費の合計 (E)	¥ 181,270	¥ 178,268	¥ 3,002
(その他) 経費	振込手数料	¥ 0	¥ 744	¥ ▲744	
	造園学会関東支部大会ポスター発表登録料	¥ 0	¥ 6,000	¥ ▲6,000	2件
	交通費	¥ 0	¥ 12,330	¥ ▲12,330	電車乗車代(松戸駅～常盤平駅) 180円×10人×3回 電車乗車代(松戸駅～北小金駅) 170円×8人×3回 電車乗車代(松戸駅～海老名駅) 940円×2人×1回 電車乗車代(松戸駅～浦和駅) 570円×1人×1回 電車乗車代(松戸駅～御茶ノ水駅) 400円×1人×1回
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 19,074	¥ ▲19,074	
	合計額 (G) = (E + F)	¥ 181,270	¥ 197,342	¥ ▲16,072	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 2,559
------------	---------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項 ※収支決算書の積算内訳の詳細を記載
団体	団体拠出金	¥ 36,901	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 36,901	
市	松戸市負担金	¥ 160,441	
合計額		¥ 197,342	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など） ※収支決算書の積算内訳の詳細を記載
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 20,000	講師謝礼 講師名：田邊学氏 20,000円×1回
	消耗品費	¥ 144,798	事務用紙：1,760円×3箱 プリントトナー：ブラック17,930円×1、 シアン・マゼンタ・イエロー各20,240円 イメージドラム：ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー各14,080円 紙コップ：330円×216円 両面テープ：484円 活動に関する書籍：2,916円 ラベルシール：602円
	食糧費	¥ 4,510	ワークショップ参加者用（お茶・ジュース・お菓子）： 2,090円+2,239円+181円
	通信運搬費	¥ 8,960	切手代：140円切手40部、84円切手40部
	対象経費の合計	¥ 178,268	
その他 経費	振込手数料	¥ 744	造園学会関東支部申込時：304円 プリンター周辺備品購入時：440円
	造園学会関東支部 大会発表登録料	¥ 6,000	3,000円×2件
	交通費	¥ 12,330	交通費 電車乗車代（松戸駅～常盤平駅） 180円×10人×3回 電車乗車代（松戸駅～北小金駅） 170円×8人×3回 電車乗車代（松戸駅～海老名駅） 940円×2人×1回 電車乗車代（松戸駅～浦和駅） 570円×1人×1回 電車乗車代（松戸駅～御茶ノ水駅） 400円×1人×1回
	その他経費の合計	¥ 19,074	
合計額		¥ 197,342	

## 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳			
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×868円			
	公共サイン定期便企画打合せ	13,888 円	4 人	× 1 h	× 4 回	× 868 円
	公共サイン定期便執筆・編集	20,832 円	2 人	× 3 h	× 4 回	× 868 円
	公共サイン定期便修正・推敲	6,944 円	2 人	× 1 h	× 4 回	× 868 円
	ワークショップ企画打合せ	41,664 円	8 人	× 1 h	× 6 回	× 868 円
	ワークショップ事前下調べ	52,080 円	10 人	× 3 h	× 2 回	× 868 円
	ワークショップ事前準備	27,776 円	4 人	× 2 h	× 4 回	× 868 円
	ワークショップポスター作成	10,416 円	3 人	× 1 h	× 4 回	× 868 円
	ワークショップ広報活動	868 円	1 人	× 1 h	× 1 回	× 868 円
	ワークショップ実施	83,328 円	8 人	× 3 h	× 4 回	× 868 円
	アドバイザーとの打合せ	6,944 円	4 人	× 2 h	× 1 回	× 868 円
	公共サインガイドライン基礎資料作成	34,720 円	5 人	× 2 h	× 4 回	× 868 円
	戸定邸誘導サイン勉強会打ち合わせ	5,208 円	3 人	× 1 h	× 2 回	× 868 円
	戸定邸誘導サイン勉強会事前準備	20,832 円	4 人	× 3 h	× 2 回	× 868 円
	戸定邸誘導サイン勉強会サイン検討	18,228 円	7 人	× 3 h	× 1 回	× 868 円
	戸定邸誘導サイン勉強会実施	18,228 円	7 人	× 3 h	× 1 回	× 868 円
	ヒアリング調査事前打ち合わせ	3,472 円	2 人	× 1 h	× 2 回	× 868 円
	ヒアリング調査実施	6,944 円	2 人	× 2 h	× 2 回	× 868 円
合 計 (A)	372,372 円					



子どもたちがつくる  
青少年会館居場所事業

だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会

生涯学習推進課(青少年会館)

# 活動状況報告書

1 事業名称 子どもたちがつくる青少年会館居場所事業

2 実施主体

■団体名： だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会

従事者数： 3名（企画運営）

団体概要：

だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会は、市内の子どもの育ち・学びに関連するNPOのネットワーク組織で、これまで秋を中心に18回、小学生を対象にした遊びと、中学生～学生世代のボランティアマッチングをしたフェスティバルを、青少年会館と共に開催してきた。

■事業担当課： 生涯学習推進課 青少年会館

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

全体企画・運営（当日）

ボランティアコーディネート

活動消耗品の手配

チラシ・ポスター等広報物作成

事業報告書制作

■担当課の役割

参加者受付・集計（啓発用イベントで事前受付のもの）

文化祭用看板関連材料提供

スポーツ・アートの会館利用団体の紹介

講師協力調整

チラシ等の簡易印刷

アンケート等集計

会場確保

4 事業の内容

I 子どもに関わる担い手育成プログラム（当日実施分）

日付	作業内容
8月4日	第1回 MATSUDO 学生クイズ選手権、として開催 講師：阿部剛氏（CHIEの輪）、参加者数43名。

	 
<p>8月5日～</p>	<p>中高生企画会議（参加者 10名） 8/24 の小学生クイズ大会に向けて、中高生による企画の打ち合わせ・クイズ大会の用紙やプログラムを準備。</p> 
<p>8月24日</p>	<p>小学生クイズ大会 （中高生/スタッフ側としての参加者 10名、小学生 31名） 中高生が中心となって運営をし、小学生を対象としたクイズ大会を開催。写真は、中学生が司会を担っている場面。</p>



10月

子どもフェスティバル・企画当日ボランティア募集



11月17日

だいすき松戸！子どもフェスティバル当日

(リーダー7名、サポーター39名(うち、中高生35名)参加)  
小学生向けイベント「だいすき松戸！子どもフェスティバル」において、中学生以上のボランティアを募集。写真は、ダンボールのおしろづくりを中学生・高校生が小学生を巻き込んで一緒に遊んでいる場面。





上：しっぽとりゲーム、下：終了後の懇親会に参加した中高生の様子

## Ⅱ 子どもの体験プログラム・ロビーワーク（当日実施分）

日 付	作 業 内 容
7月～8月	夏休みプログラム （開催回数 15 回、参加者：延べ 308 名） 夏休みに開催した小学生向けのロビーワークプログラム。写真は、エコおもちゃ紙とんぼ・バスケットボール・バドミントンの各回の様子。 実施日・プログラムに関してはチラシを別添。



日時	プログラム	団体名
7月27日	バドミントン	BLC
7月26日	昆虫に詳しくなる う！	NPO 法人スポーツ&文化振興協 会
7月29日	フライングディスク にチャレンジ	フライングディスク 流通経済 大学ボランティア

	7月31日	折り紙	折り鶴の会
	8月2日	点字いりマイ名刺をつくろう	NPO 法人子どもっとまつど
	8月5日	エコおもちゃを作っ てあそぼう！	日本エコトイ協会
	8月7日	折り紙	折り鶴の会
	8月9日	バスケットボール	新松戸バスケットボールクラブ
	8月14日	空手	真士会
	8月16日	折り紙&紙芝居・絵本	子どもの文化連絡会
		みんなで遊ぼう！	こばてい
	8月20日	アニメ上映会	上映会実行委員会
	8月22日	レジンで工作	NPO 法人さんま
	8月24日	小学生クイズ大会	(担い手育成企画と連動)
	8月27日	チアリーディング	流通経済大学チアリーディング部 GLITTERS
	8月29日	オカリナ	スイートピー
10月30日～ 11月2日	<p>文化祭「ダンボールどきどきトンネル」をつくってみよう！開催。 小学生が参加して小学生が文化祭当日遊べるコーナーをつくるプログラム。写真は、小学生たち自身でレイアウトや仕掛けを考えながら、準備を進めている様子。</p> 		

	
<p>11月3日</p>	<p>文化祭当日 前掲のダンボールトンネルコーナーを青少年会館文化祭にて開設。準備時に来ていた小学生が補修を手伝う場面もみられた。</p>
<p>12月14日</p>	<p>クリスマス会（参加者26名） 小学生向けクリスマス会を開催。写真：アイスブレイクをした後、クリスマスにちなんだ折り紙などを、ボランティアと共に参加している様子。アートパフォーマンスまつりに向けた体験プログラムの案内を会の中で実施。</p>  
<p>2月6日～ 2月13日</p>	<p>アートテーマプログラム 「版画と色塗りでアートにチャレンジ！」と「好きな字を「かっこよく」書こう！」の2テーマで開催。写真は青少年会館利用団体の協力を得て、</p>

	<p>子どもたちが版画刷りと書きたい文字を筆で書くプログラムをそれぞれ体験している様子。</p> 
(2月29日)	<p>アートパフォーマンス祭発表予定が新型コロナウイルス感染症の影響にて中止。 その後協働事業を紹介するパンフレットを製作</p>

## 5 事業成果について

### (1) 事業目的及び目標の達成について

#### ①子どもに関わる担い手育成プログラム

プログラム参加者数を延べ60名として複数日実施し、継続的に本事業に加わるボランティアを年間10名程度確保する。

→ 延べ62名の参加をした。

継続的なボランティアとしては、5名程度にとどまっているが、青少年会館文化祭の司会を担ったり、積極的に参加している中高生の発掘ができた。

#### ②子どもとの体験プログラム&ロビーワーク

定期的に参加し、興味を持つ小学生、互いの「顔が見える」関係の参加者が10人程度となるよう、支えていく。缶バッジを使った連続参加者を「青少年会館キッズメンバー」としての把握も継続する。

夏休みプログラム「夏休み・遊びの基地」参加者が延べ308名、そこからの継続参加も含め、文化祭でのトンネル制作には5名から7名が関わり、当初の目標を達成した。

キッズメンバーも35名にのぼり、アートプログラムにもバッジを付けて参加してくれる小学生もおり、着実に定着してきた実感がある。

## (2) 取り組んだ課題の解決について

### ○安心して過ごせる居場所

・青少年会館スタッフ・利用団体と小学生との関係性が生まれ、日常的な会話につながっている。

### ○異年齢のつながりづくり

・同じクラスの友達だけでなく、共同制作や同じスポーツを通じて遊ぶ仲で、顔見知り・学校を超えた知り合いになった。

### ○子どもに関わる担い手育成

・前年同様、青少年会館事業「子どもに関わる担い手発掘事業」と連携でき、クイズ大会へと前年から変更したことでより中高生・ユース世代が自ら体験→プログラム提供への流れがイメージしやすくなった。

・結果として中高生が企画側に回る体験を重ね、同じ企画をつくった仲間感が生まれたため、継続してつながる可能性を感じている。

## 6 今後の事業展開

来年度も夏休み・文化祭に向けての事業を継続予定だが、アートパフォーマンスまつりも新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、活動予定について再検討が必要となっている。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 392,336	¥ 431,396	¥ ▲39,060	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	子ども実費負担	¥ 8,000	¥ 5,200	¥ 2,800	クリスマス会の参加者26名 200円×26人
	団体拠出金	¥ 18,000	¥ 23,183	¥ ▲5,183	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 26,000	¥ 28,383	¥ ▲2,383	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 234,000	¥ 234,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 260,000	¥ 262,383	¥ ▲2,383	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ 0	研修講師謝礼 30,000円×1回（夏季期間） CHIEの輪
		¥ 15,000	¥ 19,000	¥ ▲4,000	夏休み講師謝礼 2,000円×7団体、5000円×1団体 BLC、NPO法人スポーツ&文化振興協会、フライングディスク 他
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 47,423	¥ 2,577	会場掲示物作成・コピー用紙等 消耗品 模造紙 2083円×2、掲示物作成マーカー類 856×4円、イラストコピック 18,090円（36本×2セット） 他
		¥ 20,000	¥ 22,907	¥ ▲2,907	夏休み・クリスマス会等小学生 工作等材料費 レジン 3,980円、クラフトテープ 3,747円、クリスマス会材料等 6,618円 他
	食糧費	¥ 10,000	¥ 11,753	¥ ▲1,753	ボランティアお茶代等（3,283円、4,998円、1,386円、2,086円）
	印刷製本費	¥ 63,000	¥ 59,820	¥ 3,180	チラシ カラー印刷 29,940円、コピー・輪転印刷 4,270円、成果発表 25,610円
		¥ 72,000	¥ 71,480	¥ 520	研修&ボランティア募集（夏 36,980円、冬 33,800円）、資料印刷700円
				¥ 0	
	対象経費の合計 (E)	¥ 260,000	¥ 262,383	¥ ▲2,383	
（その他経費）				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 260,000	¥ 262,383	¥ ▲2,383	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	子ども実費負担	¥ 5,200	クリスマス会の参加者26名 200円×26人
	団体拠出金	¥ 23,183	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 28,383	
市	松戸市負担金	¥ 234,000	
	合計額	¥ 262,383	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 30,000	研修講師謝礼 講師名 CHIEの輪 阿部氏 30,000円×1回（夏季期間）
		¥ 19,000	夏休み講師謝礼 2,000円×7団体、5000円×1団体 講師名 BLC 石川氏 NPO法人スポーツ&文化振興協会 佐藤氏 フライングディスク 山崎氏 他
	消耗品費	¥ 47,423	会場掲示物作成・コピー用紙等 消耗品 模造紙 2083円×2、掲示物作成マーカー類 856×4円、イラストコピック 18,090円（36本×2セット）、 掲示用ピン 1,105円、おはながみ 500枚×5セット 3,075円、コピー用紙 A3 500枚1,600円 他
		¥ 22,907	夏休み・クリスマス会等小学生 工作等材料費 レジン 3,980円、クラフトテープ 3,747円、 クレヨン 110円×10セット、クリスマス会材料等 6,618円、 他
	食糧費	¥ 11,753	ボランティアお茶代等（3,283円、4,998円、1,386円、2,086円）
	印刷製本費	¥ 59,820	チラシ カラー印刷 29,940円、コピー・輪転印刷 4,270円、成果発表 25,610円
		¥ 71,480	研修&ボランティア募集（夏 36,980円、冬 33,800円）、資料印刷700円
	対象経費の合計	¥ 262,383	
その他 経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
	合計額	¥ 262,383	

## 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×868円
	会館との打ち合わせ (10回)	52,080 円	3 人 × 2 h × 10 回 × 868 円
	夏休み子ども活動日 (単独)	46,872 円	3 人 × 3 h × 6 回 × 868 円
	夏休み子ども活動日 (連携)	41,664 円	2 人 × 3 h × 8 回 × 868 円
	夏休み脱出ゲーム企画	20,832 円	2 人 × 3 h × 4 回 × 868 円
	夏休み脱出ゲーム当日	26,040 円	3 人 × 10 h × 1 回 × 868 円
	平日子ども活動日 (文化祭)	31,248 円	3 人 × 3 h × 4 回 × 868 円
	平日子ども活動日 (アート)	23,436 円	3 人 × 3 h × 3 回 × 868 円
	文化祭ダンボールトンネル当日	12,152 円	2 人 × 7 h × 1 回 × 868 円
	フェスティバル前日準備	20,832 円	6 人 × 4 h × 1 回 × 868 円
	11/19 フェスティバル当日	83,328 円	12 人 × 8 h × 1 回 × 868 円
	クリスマス会	13,888 円	4 人 × 4 h × 1 回 × 868 円
	チラシ学校配布仕分け	27,776 円	4 人 × 4 h × 2 回 × 868 円
	チラシ制作	10,416 円	1 人 × 6 h × 2 回 × 868 円
	報告書制作	20,832 円	2 人 × 4 h × 3 回 × 868 円
合 計 (A)	431,396 円		

令和元年度市民活動助成事業 事業一覧

No.	区分	事業名	団体名	予算額		決算額	精算額
				総事業費	負担金申請額		
■スタート助成							
1	2回目	「甚左衛門の森」保全育成事業	松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」	¥155,000	¥100,000	¥116,319	¥0
2	新規	学習支援と食の提供による子どもの居場所作り事業	まんぷく小屋	¥137,600	¥100,000	¥117,156	¥0
3	新規	子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業	なないろのもり	¥192,000	¥100,000	¥266,420	¥0
4	新規	音楽活動による街の活性化事業	松戸音楽活動同好会	¥191,350	¥100,000	¥176,338	¥0
5	新規	みんなで楽しもう秋のお出かけ事業	認定特定非営利活動法人たすけあいの会ふれあいネットまつど	¥153,120	¥99,000	¥148,178	¥0
6	新規	野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談会事業	松戸地域猫スタートサポート	¥164,460	¥100,000	¥190,166	¥0
7	新規	プレママ教室事業	ぶぶぶママ大学	¥201,400	¥100,000	¥142,007	¥0
8	新規	マジック演技を通し高齢者に元気をあたえる事業	和気あいあいマジッククラブ会	¥147,646	¥100,000	¥176,248	¥0
9	新規	音楽活動による地域交流事業	Ensemble Ponte	¥410,000	¥100,000	¥257,222	¥0
10	新規	小学生の夢を育む放課後改革/情報サポート事業	MIRAIのしるし	¥148,000	¥100,000	¥107,966	¥16,957
■ステップアップ助成							
1	新規	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	¥372,000	¥300,000	¥400,642	¥0
2	2回目	生活圏に「お節介な友達作り」活動推進事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	¥275,000	¥200,000	¥255,154	¥0
3	新規	市民の権利擁護に関する啓蒙普及事業	一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター千葉県支部	¥584,100	¥300,000	¥277,624	¥106,458

「甚左衛門の森」保全育成事業

松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」

# 活動状況報告書

1 事業名称 「甚左衛門の森」保全育成事業

2 実施主体

■団体名： 松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」

従事者数： 10名

団体概要： 松戸市内の森林保全を主な目的としてボランティア組織として平成29年4月に設立し、6月から高塚新田地区の“甚左衛門の森”で活動を始めた。約0.9haの落葉・常緑混交林で一部マダケ林と変化のある森である。

月2回の全員参加の定例活動にて、雑草木・竹藪の刈払・伐採作業、立枯れ・倒木の除去、不法投棄されたごみの撤去の実施、植生の基礎調査と観察、遊歩道の整備等を実施している。

3 事業の実施内容

I 森の保全活動

日付	作業内容
4月～3月通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ撤去・雑草木の刈払い、集積、処理</li> <li>・倒壊木・枯木の集積・処理、作業道の設置、</li> <li>・侵入竹の除去、除去竹の保管・整理、不要樹木の伐採、希少種の保護</li> </ul>
6月、12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森の敷地内に不法投棄された粗大ごみ等を、みどりと花の課の協力を得て、市回収車による特別回収を実施</li> </ul>
9月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風15号、19号により生じた倒壊木（10本以上）の処理</li> <li>・道路、隣地に倒れ込んだ樹木を優先して処理し、今（1月）は森内の遊歩道上の危険木を処理中</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県里山協議会による「樹木の密度、竹林の除去伐採状況」についての確認調査 (協議会の代行にて松戸市みどりと花の課が来森し、調査実施)</li> </ul>

Ⅱ 森の保全準備活動・・・活動方針の協議、他の活動への出席/支援による知識/技量習得

日付	作業内容（講習会出席、イベント参加は希望者のみ）
4月～3月通年	・里やま応援団連絡会（毎月第一月曜 松戸まちづくり交流室）にて「他の里やま活動グループ」及び「松戸市みどりと花の課」との情報交換と協同作業打ち合わせ
5月	・5/8 2019年度（令和1年度）の当森の活動方針案を協議 ①基本方針は「焦らず、あわてず、ゆっくり、活動しながら見えてくるもの、全員の同意」 ②8つの整備ゾーンに分け、整備の優先順位と整備方針を立てる ③不法投棄ごみ対策にて、松戸市所定の「投棄禁止看板」を設置する
6月	・6/12 ちば里山センター企画「都市の里やまを知る」（関さんの森）出席 ・6/29「松戸、緑のフォーラム」（千葉大園芸学部）出席
7月	・7/8 里やまステップアップ講習会出席
8月	・8/6 竹ぽっくりイベント（幸谷学童クラブ）支援 ・8/24 森の子供館流しソーメン大会（21世紀の森「森の工芸館」）支援 ・8/30 ちば里山センター企画「安全講習会」（木更津市）出席
10月	・10/9 ちば里山センター企画「大径木伐倒安全研修会」（甚左衛門の森）会場提供と開催支援
10月～11月	・10/17～11/14 松戸里やま入門講座（毎木曜計5回）スタッフ支援 ・11/7 上記入門講座（第4回）の作業体験を当森にて実施

Ⅲ 広報的活動（R1年度に実施）

日付	作業内容
4月	・4/12、4/14「松戸緑と森の文化祭」（21世紀の森）スタッフ支援 ・「オープンフォレスト in 松戸 2019」での森の公開準備・・・森内に遊び広場と遊具を設置 ・4/20、4/24「オープンフォレスト in 松戸 2019」実施（来森者数 22人）
8月	・8/14 松戸市役所 市民自治課による当森活動の中間状況視察
11月	・11/8 隣接する「小浜屋敷の森」との懇親芋煮会
12月	・昨年と同様のA4サイズのチラシを1千枚作成（昨年は2千枚）
3月	・南側森の入り口に掲示板の設置（昨年は北側入り口に実施済） ・樹名板の作成と取り付け

#### IV 中期的項目（3年目以降を目途）

日付	作業内容
5月～（継続中）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森の中の遊歩道整備 （台風による倒木の片付けに手間取り、整備は遅れ気味）</li> <li>・カブトムシ孵化場の設営 （堆肥落ち葉の投入、森内で発見した幼虫の育成を開始）</li> <li>・鳥餌台/観察台の設置 （餌台を設置し、穀物餌を置いているが飛来の様子見えず）</li> </ul> <p>➡近隣住民の散歩・森林浴、学校活動での自然観察・野外学習の場として提供していくことが目標</p>
12月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年4月開催の「オープンフォレスト in 松戸」に向けて、遊び広場の整備、遊具作成、地中突起物の除去、倒壊危険木の除去</li> </ul> <p>➡毎年春に実施されるオープンフォレストでの森の公開を続けると共に、それ以外の時期での定期的公開が目標</p>

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的及び目標の達成について

松戸市の残存森林の保全活動が当事業の主な目的である。森の保全は1か月、1年単位で成果を得られるものではないが、月2回の定期活動で雑草木の刈払い、不要樹木の整理などで森の中が明るくなって来た。目標と達成は以下の通りである。

1. 国が定める森林密度基準まで伐採  
（不要樹木伐採：森全体の30% 当森換算面積 0.9ha×30%=約0.3ha）  
➡今年度10%（約0.1ha）、昨年度と合わせ合計20%を達成
2. 森内の竹林（マダケ）を適正数まで伐採  
（竹林面積の30% 当森換算本数約500本）  
➡今年度約170本伐採、昨年度と合わせ、計約340本の伐採を達成
3. 希少植物（キンラン、ギンラン、ヤマユリ等）の保護エリア柵を作る  
➡今年度は新たな植物が見られず、保護エリア柵は作ることが出来なかった。
4. 「オープンフォレスト in 松戸 2019」にて森の公開、森の紹介を行う  
➡4/20、4/24に森の公開を実施（来森者数 22人）
5. 会の活動概要を記した「H31年度（2019年度）版 森のチラシ」作成と会員募集  
➡12月に1,000枚作製（昨年度は2,000枚）、2月から市内、近隣に案内開始。  
現時点で、新規会員はいない。

2度の台風による倒壊木の片付けに時間を取られたが、事業全体としての自己評価は、おおむね当初の予定項目を達成できた、と判断している。

## (2) 取り組んだ課題の解決について

当会の活動を始めて2年半が経過した。その間に解決できた課題、できなかった課題については、前述の事業の実施内容、事業成果に記入しているものと重なるが、以下の通り整理する。

### 1. 森の保全と公開

- ・森林密度基準までの伐採、マダケ適正数までの伐採を含め、森内の樹木密度を健康的な状態にし、来森者のための遊歩道と遊び広場の整備はある程度できた。しかしながら、今年度は大型台風による倒木が多く、森内すべての遊歩道を整備するまでには至っていない。また、近隣住民の方々への森の公開や学校等の課外活動で当森を利用するという事は、未だできていない。

### 2. 不法投棄ごみの処理と清掃

- ・昨年同様、今年も2回（6月、12月）松戸市役所の支援を受け、ごみの廃棄を行ったが、新たに投棄されるごみも多く、投棄・廃棄、繰り返しの連続である。

### 3. 森内の樹木や生物の多様性の維持回復

- ・不要樹木の伐採で森内が明るくなり、キンラン、ギンランなどの希少植物の発芽を期待したが叶わなかった。カブトムシ孵化場、鳥の餌台の設置はできたので、次年度以降の孵化、飛来に期待したい。

### 4. 活動メンバーの増員

- ・森の公開時での勧誘や、市内各所へのチラシ配布にて呼びかけを行っているが、増員はできなかった。

## 5 今後の事業展開

①森の保全育成事業は、対象が森という自然物であり、継続的かつ地道に活動することが何よりも求められる。松戸市みどりと花の課にも定期的に報告し、また様々な支援もいただきながら事業（活動）を続けていきたいと考えている。

②森の公開には、当森の地権者の了解が必要になる。定例活動日に頻りに訪問し情報交換と良好な関係を保ちながら、地権者からの紹介を受け地元町内会などの協力も得て、公開できるようにしたい。

③ごみの不法投棄を根絶するのは容易ではなく、当活動による定期的な清掃と絶え間ない注意、地域の方々の監視を含め清潔で健康的な森にしていきたい。

④新規会員を増やし、会の活動をより積極的に進めていきたい。前述の勧誘やチラシ配布に加え、メンバー各人の周りへの呼び掛けも始めていく。

松戸みどりの市民憲章（みどり暮らす豊かさ、百年後のみどりを育てる、子供たちのためにみどりをいっぱいにする）の理念に則り、活動を続けていきたいと考えています。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	甚左衛門の森の会拠出金	¥ 55,000	¥ 16,319	¥ 38,681	会員の会費、緑越金等から拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 55,000	¥ 16,319	¥ 38,681	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 155,000	¥ 116,319	¥ 38,681	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳 (内訳の詳細は別紙-「支出一覧表」による)
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 18,000	¥ 19,952	¥ ▲1,952	森の掲示板制作 角材3,560円、金具648円、塗料2,280円など
		¥ 16,000	¥ 57,282	¥ ▲41,282	森の活動消耗品 チェーンソー替刃4,370円、熊手1,507円、一輪車3,580円 作業シート1,408円など
		¥ 70,000	¥ 32,831	¥ 37,169	森の公開イベント用品-1 工作用 ホビーノコギリ216円、スエード革紐4,440円 ホビー工具箱1,088円など
		¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	森の公開イベント用品-2 ハンモック 昨年度2セット制作出来たので今年度は制作せず。
		¥ 12,000	¥ 3,317	¥ 8,683	事務用消耗品 プリンターインク1,500円 ダブルクリップ108円など
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 2,937	¥ 7,063	チラシ作成 チラシ作成 1,000枚
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 146,000	¥ 116,319	¥ 29,681	
(その他経費)	交通費	¥ 9,000	¥ 0	¥ 9,000	千葉(里山協議会)機器安全講習会参加費・・・当森にて実施のため交通費不要
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 9,000	¥ 0	¥ 9,000	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 155,000	¥ 116,319	¥ 38,681	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	甚左衛門の森の会 拠出金	¥ 16,319	会員の会費、繰越金等から拠出
	自己資金の合計額	¥ 16,319	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合計額		¥ 116,319	

## 【支出】

科目	金額	内訳・説明事項（用途など）・・・（内訳の詳細は別紙-「支出一覧表」による）	
助成金の 交付対象 経費	消耗品費	¥ 19,952 森の掲示板制作 カットシナベニヤ2,180円、赤松角材3,560円、家庭金物200円、赤松垂木496円、パイン加工材816円、 水性ウッディガード（塗料）2,280円他	
	同上	¥ 57,282 森の活動消耗品 チェーンソー替刃55E 4,370円、チェーンソー替刃44E 3,660円、ガーデンクリーナー（熊手）1,507円、 浅型一輪車3,580円、作業シート1,408円他	
	同上	¥ 32,831 森の公開イベント用品-1 ホビーノコギリ216円、サンドペーパー216円、岩田製作所アイボルト100本3,985円 ナチュラルインテリアボード（樹名板）1,512円、スエード革紐（60本×3セット）4,440円 ホビー工具箱1,088円他	
	同上	¥ 3,317 事務用消耗品 プリンターインク6色セット1,500円、ダブルクリップ108円、便利ゴムベルト108円 インクお好み4個セット（クロ）1,280円他	
	印刷製本費	¥ 2,937 チラシ作成 チラシ作成 1,000枚	
	対象経費の合計	¥ 116,319	
その他 経費	交通費	¥ 0 千葉（里山協議会）機器安全講習会参加費・・・当森にて実施のため交通費不要	
	その他経費の合計	¥ 0	
合計額		¥ 116,319	



学習支援と食の提供による  
子どもの居場所作り事業

まんぷく小屋

## 活動状況報告書

1 事業名称 学習支援と食の提供による子どもの居場所作り事業

2 実施主体

■団体名： まんぷく小屋

従事者数： 10名

団体概要： まんぷく小屋は、地域の子供達それぞれがやりたい勉強のサポートと調理体験、多世代での食事、食後の団らん及び遊びなどを提供し、子供達が学校外での仲間や大人達と関われる居場所作りを目標に 2017 年 5 月から毎週金曜日に開催。現在は小さい子連れの親子 など、より多世代が集う場となっている。

3 事業の実施内容

I 学習支援と子ども食堂の実施

日 付	作 業 内 容
4 月 12.26 日	学習支援と子ども食堂 小人 6 人 大人 1 人
4 月 19 日	進学進級祝い&送別会 小人 17 人
5 月 3 日	スタッフミーティング
5 月 10.17.24.31 日	学習支援と子ども食堂 小人 15 人 大人 4 人
6 月 7.14.21.28 日	学習支援と子ども食堂 小人 15 人
7 月 5.12.26 日	学習支援と子ども食堂(国際交流、七夕など) 小人 12 人
9 月 6.13.27 日	学習支援と子ども食堂 小人 12 人
10 月 4.25 日	学習支援と子ども食堂 小人 8 人 大人 2 人
10 月 27 日	ビーチクリーン&水族館見学 小人 5 人
11 月 1.8.22.29 日	学習支援と子ども食堂 小人 20 人 大人 4 人
12 月 6.13 日	学習支援と子ども食堂 小人 15 人 大人 5 人
1 月 10.24 日	学習支援と子ども食堂 小人 15 人 大人 5 人
2 月 7.14.28 日	学習支援と子ども食堂 小人 30 人 大人 4 人
3 月 6.13.27 日	学習支援と子ども食堂 小人 24 人

合計小人 194 人 大人 25 人

II 出張子ども食堂の実施

日 付	作 業 内 容
7 月 19 日	常盤平団地いきいきサロン出張子ども食堂 小人 3 人 大人 2 人
12 月 8 日	サルビア公園(児童館隣)出張子ども食堂 小人 40 人 大人 4 人

12月25.26日

冬休み子どもの居場所作り 出張子ども食堂@いきいきサロン 小人12人

合計小人55人 大人6人

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的及び目標の達成について

7月から出張という形で居場所作りや広報活動をしたことで、今まで出会えていなかったシングルペアレントや不登校児に新たにリーチすることができた。また、広報まつどに取り上げてもらったことで問い合わせも増え、シニアのボランティアも加わった。8月からは常盤平団地地区社協と連携していきいきサロンで開催するにあたり、大人はボランティア希望者のみの参加と限定し、積極的に子ども達に関わってもらえるようお願いしたことで、子どもはもちろんのこと、小さい子どもを抱えた保護者もより幅広い層のボランティアとつながれた。近隣の中学校や団体との連携をとるために、中学校の校長先生、教頭先生の訪問を実施した。その他、まつど子ども食堂の会の会議・勉強会参加、不登校児を支える団体の勉強会参加、不登校児の親子との茶話会などもほぼ実行できた。制服リサイクルは集まった数が少なかったため、必要とする子に個別に渡したり、0円マーケットを開いて提供した。職業紹介イベントはできなかったが、ビーチクリーンボランティア活動への参加など課外活動ができたので、目標はほぼ達成出来た。

##### (2) 取り組んだ課題の解決について

子ども食堂や居場所が必要な子ども達にリーチするために、当初の計画ではポスターとチラシ配布しか考えていなかったが、8月から常盤平団地内のいきいきサロンを利用して2軒目の食堂を開始したり、児童館脇の公園への出張子ども食堂と0円フリーマーケットを実施することで、新たな子ども達との出会いが生まれた。また、スクールソーシャルワーカーの先生とも何度か話すことが出来たので、冬休みに発行されたカウンセラー便りにも、冬休みの居場所としてまんぷく小屋を案内してもらい、3ヶ所の中学で配布してもらった。チラシ・ポスター・ブログなどから問い合わせや寄付も増え、シニアのボランティアスタッフや小さい幼児連れの利用者も増えてきて多世代感が増し、子ども達にとっても、お互いに教えあったりカリキュラムを超えた勉強ができ、一層居心地が良くなったと思う。ただし小さい親子連れが増えたので、子ども達が集中して勉強する時間をきちんとキープすることが課題になっている。

#### 5 今後の事業展開

全く接点のない中学生の居場所になるためにどうすればいいか（例えば校内居場所カフェなど）を考えていきたい。また、高校を中退したり、もともと高校に行っていない子は、小中学生時代以上に誰からもサポートされなくなるので、今後はスタッフ全員でもっと、不登校問題の勉強の学びなおし、社会との関係を切ってしまった中・高校生など、色々な問題に向き合っていきたい。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 0	¥ 9,300	¥ ▲9,300	食事代@300×31人
	寄付	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	
	団体拠出金	¥ 17,600	¥ 7,856	¥ 9,744	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 37,600	¥ 17,156	¥ 20,444	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 137,600	¥ 117,156	¥ 20,444	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 103,000	¥ 113,016	¥ ▲10,016	食材費他101,765円 印刷紙2000円ラミネートフィルム1188円 インク代8063円
	印刷製本費	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	外注しなかったため
	保険料	¥ 4,600	¥ 1,400	¥ 3,200	検便代1,200円 容器代200円
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
対象経費の合計 (D)		¥ 137,600	¥ 114,416	¥ 23,184	
(その他経費)	通信費	¥ 0	¥ 2,140	¥ ▲2,140	まつどあサポーター登録料2000円郵便代140円
	研修費		¥ 600	¥ ▲600	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 2,740	¥ ▲2,740	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 137,600	¥ 117,156	¥ 20,444	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	事業収入	¥ 9,300	300円/@大人1人×31人
	団体拠出金	¥ 7,856	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 17,156	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合計額		¥ 117,156	

## 【支出】

科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 経費交付 対象	消耗品費	¥ 113,016 食材費他101,765円 印刷紙2000円 ラミネートフィルム1188円 インク代8063円
	保険料	¥ 1,400 検便代1,200円 容器代200円
	対象経費の合計	¥ 114,416
	通信費	¥ 2,140 まつどあサポーター登録料2000円 郵便代140円
	研修費	¥ 600
	その他経費の合計	¥ 2,740
合計額		¥ 117,156



子育てが楽しくなる  
地域コミュニティ事業

なないろのもり



11月8日	協賛者説明会
11月11日～	準備
12月7日	クリスマスフェスティバル まつど市民活動サポートセンター (来場者 700 名・サポートスタッフ 6 名・協賛 23 名・出演者 88 名)

(Ⅲ) 冬の体験会の実施 (10 名参加)

日付	作業内容
11月21日	イベント企画打ち合わせ
11月22日～29日	チラシ・リーフレットの企画及び作成・校正
11月29日	チラシ・リーフレット印刷
12月7日～	チラシ・リーフレット配布・告知 (イベント内、SNS 告知)
12月17日	準備
12月24日	冬の体験会 (巨大バールーンで体を動かして遊ぼう!) まつど市民活動サポートセンター (参加者 10 名) ※予定していたアイシングクッキー作りは、講師インフルエンザにつき中止

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

・イベント来場者 1300 名

この目標は平成 30 年度の実績を元に算出しましたが、今年度は 3 つのイベント延べ 990 名でした。特にクリスマスフェスティバルが悪天候で来場者が伸びなかったことや冬の体験会時期にインフルエンザの流行が重なった事が一因と思われます。

達成率としましては約 7 割強となりましたが、会場全体に目が行き届き、来場者とのコミュニケーションが図れるなどの利点も多く、各所からご好評をいただき平成 30 年度開催時の反省点が改善されたという点からも、安全かつ適切な人数での開催であったと思われま

す。

・会員数・協力者を 100 家族募る。

会員数に関しては、継続して参加したい! との意思表示をいただいたお子さんに対する登録システムを構築し、現状 25 名の子ども達に登録いただいている状況です。

協力者に関しては、イベント毎の協賛をいただける方々は増えています。今年度 3 イベントの協賛者は 26 名、サポーターとしてイベントの裏方などをしてくれた方は 6 名でした。

会員数・協力者数は合計で 57 名となり、今年度の目標値に対して 6 割弱でした。今後は、団体の運営まで一緒に関わっていただける様な協力者との関係の継続と若い子育て世代の新たな協力者を募集していくのが一番の課題です。

## (2) 取り組んだ課題の解決について

日々の暮らしの中で子育てが楽しい！と思える環境作り。  
親子で一緒に楽しめるイベントを開催することによって、子育て世代の繋がりや出会いの場を作ることはできました。環境作りとしては、さらに地域の様々な世代の方々を巻き込む必要があると考えます。子育て世代以外の方々への周知などを強化していくことで地域に根付いた環境作りを進めていきたいと思っています。

## 5 今後の事業展開

なないろのもりの活動の周知を広め、会員数を増やしていく。  
リーフレット作成に時間がかかってしまったために、会員募集のスタート時期が遅れてしまった。さらに3月の市内イベントに出展することで大規模なリーフレットの配布を予定していたので、新型コロナの影響のイベント中止も痛手となってしまった。  
しかし、子ども達の生活に制限がかかっている現状に、なないろのもりのような場所を求めている親子は多いことを切実に感じています。4月以降のイベントや小中学校、幼稚園、保育園などへの配布、SNSでの告知などに力を入れ、継続して参加していただける方々を増やしていき、会員数の増大に繋げていきたいと思っています。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 64,500	¥ 75,000	¥ ▲10,500	Xmasフェスティバル協賛金2000円×11 22000円 2500円×2 5000円 3000円×7 21000円 9000円×3 27000円
		¥ 3,500	¥ 6,500	¥ ▲3,000	夏まつりハンドメイド出展料500円×7 3500円 1000円×3 3000円
		¥ 24,000	¥ 27,000	¥ ▲3,000	夏まつりあそび券300円×90人 27000円
			¥ 34,000	¥ ▲34,000	夏の体験会 パン教室1000円×34人 34000円 (材料費900円×34人30600円 飲料費100円×34人 3400円)
			¥ 15,930	¥ ▲15,930	Xmasフェスティバル駄菓子代15930円
	団体拠出金		¥ 7,990	¥ ▲7,990	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 92,000	¥ 166,420	¥ ▲74,420	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 192,000	¥ 266,420	¥ ▲74,420	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 13,000	¥ 38,000	¥ ▲25,000	夏の体験会パン教室講師代 10000円×1名 夏の体験会パン作りサポート・夏祭りスタッフ 6000円×1名 Xmasフェスティバルサポートスタッフ 2000円×2名、3000円×1名、5000円×3名	
	委託費	¥ 18,000	¥ 17,000	¥ 1,000	夏まつりチラシ入稿委託2000円 Xmasチラシデザイン制作費5000円 横断幕デザイン制作費5000円 リーフレットデザイン制作費5000円	
	消耗品費	¥ 38,920	¥ 132,378	¥ ▲93,458	夏の体験会材料費30600円 スーパーボール4860円 夏まつり駄菓子8812円 夏まつり駄菓子6832円 ビニール袋462円 折り紙153円 布テープ396円 ガムテープ他864円 水ヨーヨー2386円 カラー用紙他432円 かつら、シャボン玉他2376円 インクカートリッジ4386円 消耗品ガムテープ他648円 インクカートリッジ7992円 インクカートリッジ5055円 ビニールテープ、模造紙他28135円 Xmas駄菓子1468円 風船他1094円 Xmas駄菓子3810円 消耗品Xmasラッピング袋他 1210円 装飾バルーン、ガーラント3410円 養生テープ他3093円 紙コップ636円 大型ビーチボール5975円 Xmasイベントプレゼント用飲料水2700円 Xmasイベントプレゼント用お菓子1654円 Xmasイベントプレゼント用お菓子1859円 Xmasイベントプレゼント用あめ1080円	
	印刷製本費	¥ 42,400	¥ 40,293	¥ 2,107	夏のイベントチラシ5270円 (2000部) 夏のイベントチラシ印刷代150円 Xmasフェスティバルチラシ10260円 (5000部) Xmasフェスティバルチラシ追加4860円 (1000部) 横断幕10213円 なないろのもり年間リーフレット8970円 (2000部) 冬の体験会チラシカラーコピー代300円 冬の体験会チラシカラーコピー代150円 冬の体験会チラシカラーコピー代120円	
	使用料及び賃借料	¥ 29,280	¥ 5,540	¥ 23,740	夏まつり実施分 サポートセンター大会議室1050円 夏まつり実施分 サポートセンター大会議室1850円 Xmasフェスティバル説明会実施分 サポートセンター第二会議室880円 冬休み体験会実施分 サポートセンター多目的ホール1100円 大会議室660円	
	保険料	¥ 36,400	¥ 16,240	¥ 20,160	行事保険 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 夏の体験会&夏祭り 8/5 28円×50人 1400円 8/6 28円×100人 2800円 Xmasフェスティバル 12/7 28円×400人 11200円 冬の体験会 12/24 28円×30人 840円	
	食糧費	¥ 3,000	¥ 6,842	¥ ▲3,842	夏のイベント参加者飲料水4402円 夏のイベント参加者飲料水2440円	
		対象経費の合計 (D)	¥ 181,000	¥ 256,293	¥ ▲75,293	
	(その他経費)	食糧費	¥ 6,000	¥ 10,127	¥ ▲4,127	夏のボランティア飲料水1391円 夏のボランティア昼食代2793円 夏のボランティア飲料水745円 講師打合せ飲食代1404円 Xmasボランティア昼食代1077円 Xmasボランティア飲料水2717円
		交通費	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	
		その他経費の合計額 (E)	¥ 11,000	¥ 10,127	¥ 873	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 192,000	¥ 266,420	¥ ▲74,420		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
	事業収入	¥ 75,000	Xmasフェスティバル協賛金2000円×11 22000円 2500円×2 5000円 3000円×7 21000円 9000円×3 27000円
		¥ 6,500	夏まつりハンドメイド出展料500円×7 3500円 1000円×3 3000円
		¥ 27,000	夏まつりあそび券300円×90人 27000円
		¥ 34,000	夏の体験会バン教室1000円×34人 34000円 (材料費900円×34人30600円 飲料費100円×34人 3400円)
		¥ 15,930	Xmasフェスティバル駄菓子販売15930円
	団体拠出金	¥ 7,990	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 166,420	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合 計 額	¥ 266,420	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項 (用途など)	
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 38,000	夏の体験会バン教室講師代 10000円×1名 夏の体験会バン作りサポート・夏祭りスタッフ 6000円×1名 Xmasフェスティバルサポートスタッフ 2000円×2名、3000円×1名、5000円×3名	
	委託費	¥ 17,000	夏まつりチラシ入稿委託代2000円 Xmasチラシデザイン制作費5000円 横断幕デザイン制作費5000円 リーフレットデザイン制作費5000円	
	消耗品費	¥ 132,378	夏の体験会材料費30600円 スーパーボール4860円 夏まつり駄菓子8812円 夏まつり駄菓子6832円 ビニール袋462円 折り紙153円 布テープ396円 ガムテープ他864円 水ヨーヨー2386円 カラー用紙他432円 かつら、シャボン玉他2376円 インクカートリッジ4386円 消耗品ガムテープ他648円 インクカートリッジ7992円 インクカートリッジ5055円 ビニールテープ、模造紙他28135円 Xmas駄菓子1468円 風船他1094円 Xmas駄菓子3810円 消耗品Xmasラッピング袋他 1210円 装飾バルーン、ガーラント3410円 養生テープ他3093円 紙コップ636円 大型ビーチボール5975円 Xmasイベントプレゼント用飲料水2700円 Xmasイベントプレゼント用お菓子1654円 Xmasイベントプレゼント用お菓子1859円 Xmasイベントプレゼント用あめ1080円	
	印刷製本費	¥ 40,293	夏のイベントチラシ5270円 (2000部) 夏のイベントチラシ印刷代150円 Xmasフェスティバルチラシ10260円 (5000部) Xmasフェスティバルチラシ追加4860円 (1000部) 横断幕10213円 なないろのもり年間リーフレット8970円 (2000部) 冬の体験会チラシカラーコピー代300円 冬の体験会チラシカラーコピー代150円 冬の体験会チラシカラーコピー代120円	
	使用料	¥ 5,540	夏まつり実施分 サポートセンター大会議室1050円 夏まつり実施分 サポートセンター大会議室1850円 Xmasフェスティバル説明会実施分 サポートセンター第二会議室880円 冬休み体験会実施分 サポートセンター多目的ホール1100円 大会議室660円	
	保険料	¥ 16,240	行事保険 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 夏の体験会&夏祭り 8/5 28円×50人 1400円 8/6 28円×100人 2800円 Xmasフェスティバル 12/7 28円×400人 11200円 冬の体験会 12/24 28円×30人 840円	
	食糧費	¥ 6,842	夏のイベント参加者飲料水4402円 夏のイベント参加者飲料水2440円	
	対象経費の合計	¥ 256,293		
	その他 経費	食糧費	¥ 10,127	夏のボランティア飲料水1391円 夏のボランティア昼食代2793円 夏のボランティア飲料水745円 講師打合せ飲食代1404円 Xmasボランティア飲料水1077円 Xmasボランティア飲料水2717円
		交通費	¥ 0	
その他経費の合計		¥ 10,127		
	合 計 額	¥ 266,420		

音楽活動による街の活性化事業

松戸音楽活動同好会

## 活動状況報告書

1 事業名称 音楽活動による街の活性化事業

2 実施主

団体名: 松戸音楽活動同好会

従事者数: 17名

団体概要: 音楽活動を媒体にして 高齢者を主体に広く多世代に元気と勇気を届ける活動をする  
 高齢者や障害者等の福祉施設を訪問して音楽活動をし 又地域でのコンサートや音楽祭  
 や音楽サロン等のイベントを企画・運営して 音楽で絆を深め明るく楽しい賑やかなまちづ  
 くりを行う 音楽団体への講師派遣や歌声会のピアノ伴奏や音楽イベントに出演等をして  
 市民の生き甲斐作り・健康作りにも貢献する 又会員の遣り甲斐・達成感を共に享受する

3 事業の実施内容

(I)【松音ハッピーコンサート】 企画運営主催地域活動事業の実施

開催日	作業内容
<p>5月12日(日) 13:30～15:30</p> <p>●イベント開催準備</p> <p>●後援団体申請</p> <p>●イベント開催当日</p> <p>●イベント開催後</p>	<p style="text-align: center;"><b>松音ハッピーコンサート Vol.1</b> 会場 矢切公民館 ホール</p> <p>第1部演奏(ピアノ、津軽三味線)、第2部独唱、第3部みんなで歌声コーラス                      ポスター・チラシ作成と印刷、発注、配布、掲示(市の施設・店舗・カフェ・町内会等)、                      バス路線車内配置、ポステイング、広報まつど「ユーカーひろば」掲載依頼等広報活動                      プログラム・歌詞・楽譜歌集・アンケートの作成と印刷、タイムテーブル等進行活動                      講師(有償)、司会者、受付、出演者、MC等選任打合せ作業                      音響・照明確認、横断幕準備、リハーサル及び歌唱練習</p> <p>松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会、松戸市観光協会</p> <p>案内板・横断幕・立て看板設置、会場設営、時間・音響・照明の確認・管理、                      受付設置、来賓接待、来場者誘導、出演者打合せ・誘導、講師料支払い、控室管理、                      講師 司会・ボーカリスト 山本福子氏、講師 歌う会「常楽我歌」主宰 吉田秀子氏  <b>参加者数 104名</b> (出演者8名、講師2名、スタッフ4名、来場者90名)</p> <p>アンケート集計、会計精算、反省会、報告書作成、次回の準備(次回の公用申請)</p>
<p>8月25日(日) 13:20～ 15:50</p> <p>●イベント開催準備</p> <p>●後援団体申請</p> <p>●イベント開催当日</p> <p>●イベント開催後</p>	<p style="text-align: center;"><b>松音ハッピーコンサート Vol.2</b> 会場 矢切公民館 ホール</p> <p>第1部演奏(ピアノ、フルート、津軽三味線)、第2部ライブ、第3部みんなで歌声コーラス                      松音ハッピーコンサート Vol.1 と同様</p> <p>松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会、松戸市観光協会</p> <p>松音ハッピーコンサート Vol.1 と同様</p> <p>講師 シンガーソングライター 吉崎聡史氏、講師 歌う会「常楽我歌」主宰 吉田秀子氏  <b>参加者数 108名</b> (出演者6名、講師2名、スタッフ4名、来場者96名)</p> <p>松音ハッピーコンサート Vol.1 と同様</p>
<p>11月17日(日) 13:30～16:00</p> <p>●イベント開催準備</p> <p>●後援団体申請</p> <p>●イベント開催当日</p> <p>●イベント開催後</p>	<p style="text-align: center;"><b>松音ハッピーコンサート Vol.3</b> 会場 矢切公民館 ホール</p> <p>第1部演奏(ハーモニカ、ピアノ、篠笛)、第2部ライブ、第3部みんなで歌声コーラス                      松音ハッピーコンサート Vol.1 と同様</p> <p>松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会</p> <p>松音ハッピーコンサート Vol.1 と同様</p> <p>講師 エレクトーン・ピアノ講師 糸田洋子氏                      講師 歌う会「我楽我歌」主宰 吉田秀子氏  <b>参加者数 132名</b> (出演者18名 講師2名 スタッフ8名 来場者104名)</p> <p>松音ハッピーコンサート Vol.1 と同様</p>

<b>3月1日(日)</b> <b>※開催中止</b> ●イベント開催準備 ●後援団体申請 ●中止作業 ●開催予定日	<b>松音ハッピーコンサート Vol.4</b>	会場 矢切公民館 ホール <b>中止</b>
松音ハッピーコンサート Vol.1と同様 松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会 関係各所に中止手続 店舗・公民館・市民センター等に中止案内貼付・電話連絡等 矢切公民館ホール前の特設受付にて中止対応 (来場者8名)		

年間1回開催目標に対し 3回実施

(開催4回予定のうち 1回は \*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 2月26日急遽中止決定)

(II)【サポセン音楽祭】 企画運営主催地域活動事業の実施

開催日	作業内容
<b>6月23日(日)</b> 10:00~15:10 ●実行委員会開設 ●イベント開催準備 ●後援団体申請 ●イベント開催当日 ●イベント開催後	<b>第3回サポセン音楽祭</b>
会場 まつど市民活動サポートセンター 多目的ホール 市内10音楽団体演奏会 (松戸シニアアンサンブル、Music Plus One、松戸二中、他) 実行委員長選出、実行委員会運営、開催日程取り決め、公用申請、音響確認、 出演団体応募・決定、タイムテーブル作成、出演団体会議運営、リハーサル等 ポスター・チラシ作成と印刷、発注、配布、掲示(市の施設・店舗・カフェ・町内会等)、 バス路線車内配置、ポスティング、広報まつど「ユウカリひろば」掲載依頼等 広報活動 プログラム・歌詞・アンケートの作成と印刷、役割分担作成、横断幕準備等 進行活動 講師(有償)、司会者、受付、出演者、MC選任等 打ち合わせ作業 景品購入 松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会 案内板・横断幕・立て看板設置、会場設営、時間・音響・照明の確認・管理、 受付設置、来賓接待・来場者誘導、出演者打合せ・誘導、講師料支払い、控室管理 講師 松田ピアノ教室 主宰 松田美喜氏 講師 司会・ボーカリスト 山本福子氏 <b>参加者数 372名</b> (出演10団体168名、来場者204名) アンケート集計、会計精算、反省会、報告書作成、次回の準備	

年間1回開催目標に対し 1回実施

(III)【松音サロン】 企画運営主催地域活動事業の実施

開催日	作業内容
<b>10月9日(水)</b> 13:30~15:00 ●イベント開催準備 ●後援団体申請 ●イベント開催当日 ●イベント開催後	<b>松音サロン No.1</b>
会場 上矢切第三町会公民館 集会室 演奏・和やか・歌声のふれあい交流の地域音楽サロン ポスター・チラシ作成、印刷、配布、町内会掲示、ポスティング等広報活動 プログラム・楽譜・タイムテーブル等進行活動、音響確認、リハーサル 松戸市、松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会 案内板・立て看板設置、会場設営、時間・音響・照明管理、受付設置、 来場者誘導、出演者打合せ・誘導、会計処理 <b>参加者数 24名</b> (スタッフ4名、出演者1名、来場者19名) 反省会、報告書作成、次回の準備(日程取り決め、公民館集会室予約)	
<b>12月19日(木)</b> 13:30~15:00 ●イベント開催準備 ●後援団体申請 ●イベント開催当日 ●イベント開催後	<b>松音サロン No.2</b>
会場 上矢切第三町会公民館 集会室 演奏・和やか・歌声のふれあいクリスマス音楽サロン 松音サロン No.1と同様 松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会 松音サロン No.1と同様 <b>参加者数 27名</b> (スタッフ4名、出演者1名、来場者22名) 松音サロン No.1と同様	

<b>1月30日(木)</b> 13:30～15:00  ●イベント開催準備 ●後援団体申請 ●イベント開催当日  ●イベント開催後	<b>松音サロン No.3</b> 会場 上矢切第三町会公民館 集会室  <u>演奏・和やか・歌声のふれあい交流の地域音楽サロン</u> 松音サロン No.1 と同様 松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会 松音サロン No.1 と同様 <b>参加者 21名</b> (スタッフ2名、出演者1名、来場者18名) 松音サロン No.1 と同様
---	---

年間1回開催目標に対し 3回実施

(IV)【公開講座】 企画運営主催地域活動事業の実施

開催日	作業内容
<b>7月31日(水)</b> 10:00～12:00  ●イベント開催準備  ●イベント開催当日  ●イベント開催後	<b>第1回 松音公開講座</b> 矢切公民館 ホール  市民対象の歌唱コーラスの公開練習 (松音ハッピーコンサート Vol.2 対応) ポスター・チラシ作成と印刷、配布、掲示、ポスティング等広報活動 歌集作成と印刷、講師との打ち合わせ、進行活動、リハーサル 案内板・立て看板設置、会場設営、時間管理、受付設置、参加者誘導 等 講師(無償) 歌う会「常楽我歌」主宰 吉田秀子氏 <b>参加者数 19名</b> (講師1名、スタッフ3名、来場者15名) 反省会、次回の準備
<b>8月7日(水)</b> 10:00～12:00  ●イベント開催準備 ●イベント開催当日  ●イベント開催後	<b>第2回 松音公開講座</b> 矢切公民館 ホール  市民対象の歌唱コーラスの公開練習 (松音ハッピーコンサート Vol.2 対応) 第1回公開講座 第1回公開講座と同様 講師(無償) 歌う会「常楽我歌」主宰 吉田秀子氏 <b>参加者数 20名</b> (講師1名、スタッフ3名、来場者16名) 第1回公開講座と同様
<b>10月30日(水)</b> 10:00～12:00  ●イベント開催準備 ●イベント開催当日  ●イベント開催後	<b>第3回 松音公開講座</b> 矢切公民館 会議室  市民対象の歌唱コーラスの公開練習 (松音ハッピーコンサート Vol.3 対応) 第1回公開講座と同様 第1回公開講座と同様 講師(無償) 歌う会「常楽我歌」主宰 吉田秀子氏 <b>参加者数 16名</b> (講師1名、スタッフ3名、来場者12名) 第1回公開講座と同様
<b>2月22日(土)</b> 10:00～12:00  ●イベント開催準備 ●イベント開催当日  ●イベント開催後	<b>第4回 松音公開講座</b> 矢切公民館 ホール  市民対象の歌唱コーラスの公開練習 (松音ハッピーコンサート Vol.4 対応) 第1回公開講座と同様 第1回公開講座と同様 講師(無償) 歌う会「常楽我歌」主宰 吉田秀子氏 <b>参加者数 28名</b> (講師1名、スタッフ3名、来場者24名) 第1回公開講座と同様

年間1回開催目標に対して4回実施

## (V)【施設訪問音楽活動】 企画運営主催地域活動事業の実施

回数	月	日	曜	福祉施設活動場所	活動時間(+前後30分作業)	備考	参加者数
1	4	2	火	かがやき矢切	14:00~15:00		35
2		10	水	馬橋ケアハウスなでしこ	14:00~15:00		33
3		17	水	あけぼの南流山	14:00~15:00		22
4		24	水	秋桜大金平	14:00~15:00		24
5		30	火	秋桜栄町	14:00~15:00		25
6	5	7	火	なでしこ矢切	14:00~15:00		36
7		15	水	いぶきの広場	14:00~15:00		25
8	6	3	月	あけぼの南流山	14:00~15:00		22
9		6	木	いきいき市川	14:00~15:00		14
10		10	月	なでしこ矢切	14:00~15:00		30
11		17	月	馬橋ケアハウスなでしこ	14:00~15:00		28
12		26	水	秋桜大金平	14:00~15:00		25
13	7	8	月	なでしこ矢切	14:00~15:00		30
14		17	水	いぶきの広場	14:00~15:00		15
15		22	月	あけぼの南流山	14:00~15:00		18
16		29	月	ソラスト新松戸	14:00~15:00		30
17	8	23	金	エスケアホーム新松戸	14:00~15:00		40
18	9	30	月	なでしこ矢切	14:00~15:00		38
19	10	7	月	まんさくの里	14:00~15:00	市職員視察	87
20		14	月	あけぼの南流山	14:00~15:00		36
21		21	月	馬橋ケアハウスなでしこ	14:00~15:00		25
22		22	火	秋桜大金平	14:00~15:00		30
23		29	火	なでしこ矢切	14:00~15:00		30
24	11	5	月	そよ風	14:00~15:00		45
25		25	月	なでしこ矢切	14:00~15:00		33
26		28	木	メイト中金杉	14:00~15:00		25
27	12	2	月	かがやき矢切	14:00~15:00		30
28		4	水	ソラスト新松戸	14:00~15:00		35
29		10	火	秋桜大金平	14:00~15:00		25
30		16	月	癒し幸田	14:00~15:00		25
31		17	月	いぶきの広場	14:00~15:00		20
32		23	月	ニッセイエデンの園	14:00~15:00		35
33		25	水	馬橋ケアハウスなでしこ	14:00~15:00		95
34		25	水	いきいき市川	16:00~17:00		15
35		29	日	イリーゼ松戸	14:00~15:00		35
36	1	19	日	サニーライフ松戸	16:00~17:00		15
37		23	木	あけぼの南流山	14:00~15:00		35
38	2	17	月	わかば胡録台	14:00~15:00		20

※施設訪問音楽活動事業 38回実施 (43回予定の内 5回活動中止) 総参加者数1181名  
2月下旬以降、新型コロナウイルス感染症予防のため活動自粛 松戸市感染症対策本部長通達を  
勘案し公民館閉鎖や各福祉施設からの開催中止連絡により3月末迄の活動は全て中止とした

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的及び目標の達成について

###### ・事業目的の達成について

- ① 音楽を通して高齢者や障害者の居場所作り  
音楽イベント主催や介護・障害者施設訪問音楽活動で高齢者・障害者に大変喜ばれ演奏を聴いて戴き 一緒に歌う等の音楽を楽しんで戴く活動を通して居場所作りが図れた
- ② 音楽活動で高齢者や障害者に「元気と勇気」の伝達  
音楽活動を通して参加者が感動し活力を得ることにより、元気と勇気を届けることができた
- ③ 音楽活動仲間との交流を通してまちの発展充実化  
音楽イベント等の出演者達と交流し団結することにより「音楽のまちづくり」に貢献した

###### ・事業目標の達成について

###### ① 主催事業回数 目標 50回

**主催事業回数 実績 49回** (①音楽イベント主催11回+②施設訪問音楽事業38回 = 49回)

※年間55回活動予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、コンサート主催1回と施設訪問音楽事業5回の合計6回の活動が中止となったため、目標回数に1回未達となった

###### ② 主催事業参加者・対象者延べ人数 目標 1150名 (150名+800名+200名 = 1150名)

**主催事業参加者・対象者延べ人数 実績 2052名**

(①音楽イベント主催871名+②施設訪問音楽事業1181名=2052名)

※大幅に充実した達成数となった 主催事業の音楽会開催については来場者の満足度が高く(アンケート平均95%以上が大満足乃至満足)開催回数を増やし参加人数の増加にも繋がった又施設訪問音楽事業活動においても多くの施設で参加者の増加が顕著となり、盛大に行うことが出来た

##### (2) 取り組んだ課題の解決について

###### ・解決できたこと

年間を通しての継続的な音楽活動の実践で多くの参加者を得て感動と活力の基になり、来場者・参加者・出演者・スタッフに「元気」と「勇気」を届けられたことで、街(市)の活性化の一助になった

###### ・解決できなかったこと

音楽を通して引きこもり高齢者や障害者(児)との地域交流を模索したが実践には至らなかった

#### 5 今後の事業展開

###### ・解決できなかった課題の対応

- ① 障害者施設等を訪問し 音楽交流をし 音楽会開催の協力を得て、音楽会を企画・運営する
- ② 民生委員や町内会等の支援を受けて、引きこもりや独居高齢者が外出し楽しみを得る機会となるように音楽サロンを企画・運営する

###### ・今後の事業展開について

- ① 引きこもりや障害の有無にかかわらず 老若男女の多世代を対象に音楽活動を通して地域活動を実践して市(街)の活性化に貢献していく
- ② 音楽演奏技術の更なる向上と音楽イベントの企画・運営力向上を推進して 充実した音楽会を主催して 音楽の街「松戸」の発展の一助となる

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 81,350	¥ 62,018	¥ 19,332	対象事業費の1部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	施設より謝礼金	¥ 10,000	¥ 14,320	¥ ▲4,320	1,000円×7回 2,000円×3回 1,320x1回
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 91,350	¥ 76,338	¥ 15,012	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 191,350	¥ 176,338	¥ 15,012	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報酬費	¥ 30,000	¥ 36,000	¥ ▲6,000	外部講師謝礼 5,000円x6回 3,000円x2回
	消耗品費	¥ 20,000	¥ 4,380	¥ 15,620	キーボード音響機器 3,218円×1回 514円×1回 消耗品費 540円×1回 108円×1回
	消耗品費	¥ 15,600	¥ 5,152	¥ 10,448	歌詞模造紙作成費 1190円 3,655円 307円
	消耗品費	¥ 15,000	¥ 36,087	¥ ▲21,087	コピー用紙 14,852円 プリンタインク 11,714円 事務用品等 9,521円
	食糧費	¥ 12,000	¥ 2,070	¥ 9,930	茶菓子代 (イベント景品用)
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 19,350	¥ 650	ポスターチラシの印刷代 (周知用) サボセン音楽祭3000枚6,220円 松音ハッピーコンサート 1800枚3,840円、1700枚3,000円 1700枚3,000円、1700枚3,290円
	印刷製本費	¥ 4,000	¥ 19,000	¥ ▲15,000	配布物の印刷代・配布物のコピー代 13,500円 5,500円
	手数料	¥ 7,000	¥ 0	¥ 7,000	広報費 (周知用)
	通信費	¥ 3,000	¥ 2,665	¥ 335	切手代 (周知用) 210円x5回、120円x5回、 140円×5回、63円×5回、
	使用料及び賃借料	¥ 24,000	¥ 11,334	¥ 12,666	会場使用料 サボセン4h 1,190円 女性センター7h1,603円 市民センター9h2,541円 上三町会公民館9h 6,000円
		対象経費の合計 (D)	¥ 150,600	¥ 136,038	¥ 14,562
(その他経費)	食糧費	¥ 10,000	¥ 6,400	¥ 3,600	会員の会合昼食代補助 400円×8名x2回
	交通費	¥ 28,650	¥ 31,800	¥ ▲3,150	会員の交通費補助 1,300円×8名x3回 駐車場代 1回600円
	保険料	¥ 2,100	¥ 2,100	¥ 0	ボランティア保険料 350円×6名
		その他経費の合計額 (E)	¥ 40,750	¥ 40,300	¥ 450
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 191,350	¥ 176,338	¥ 15,012	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	松戸音楽活動同好会 団体拠出金	¥ 62,018	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	施設より謝礼金	¥ 14,320	1000円×7回 2000円×3回 1320円×1回
	自己資金の合計額	¥ 76,338	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合 計 額	¥ 176,338	

## 【支 出】

科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）※収支決算書の積算内訳の詳細を記載	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 36,000	講師謝礼 講師名 吉田秀子氏 13,000円 (5,000円×2, 3000円×1) 山本福子氏 10,000円 (5,000円×2) 吉崎聡史氏 5,000円 (5,000円×1) 糸田洋子氏 5,000円 (5,000円×1) 松田美喜氏 3,000円 (3,000円×1)
	消耗品費	¥ 4,380	音響機器 マイクロフォン3,218円 プラグアダプター540円, 514円 ステレオミニプラグ108円
	消耗品費	¥ 5,152	歌詞模造紙作成 クラフト紙1,190円 スプレー糊3,655円 糊307円
	消耗品費	¥ 36,087	事業用消耗品 ポスター・チラシ・プログラム・アンケート・歌集印刷用紙 14,852円 プリンタインク 11,714円 他9,521円
	食糧費	¥ 2,070	茶菓子代 サポセン音楽祭 景品用 2,070円
	印刷製本費	¥ 19,350	広報チラシの印刷代 東京カラー印刷 サポセン音楽祭 6,220円 松音ハッピーコンサート 3,840円, 3,000円, 3,000円, 3,290円
	印刷製本費	¥ 19,000	・印刷代 まつど市民活動サポートセンター11,880円 矢切地区社会福祉協議会 1,620円 ・コピー代 まつど市民活動サポートセンター2,060円, 他3,440円
	手数料	¥ 0	周知用として新聞折込チラシ等広報費の予算を計上したが、 他の無償手段で代用出来たため手数料は発生せず ・他の無償手段：スーパー、コンビニ、ドラッグストア店舗での チラシ掲示、バス路線車内でのチラシ配置、チラシのポスティング、 イベント会場でのチラシ配布、フリーペーパーにイベント掲載等
	通信費	¥ 2,665	切手購入
	使用料及び賃借料	¥ 11,334	・会議室等会場使用料 上三町会公民館 2,000円×3 まつど市民活動サポートセンター 210円, 540円, 440円 女性センター 448円, 224円, 448円, 224円, 147円, 112円 馬橋市民センター798円, 567円, 小金北市民センター588円, 小金市民センター588円
	対象経費の合計	¥ 136,038	
その他経費	食糧費	¥ 6,400	会員の事業対応会合昼食費補助 400円×8名×2回
	交通費	¥ 31,800	会員の事業対応交通費補助 1300円×8名×3回 事業対応駐車場代 1回 600円
	保険料	¥ 2,100	ボランティア保険料 350円×6名
	その他経費の合計	¥ 40,300	
	合 計 額	¥ 176,338	

みんなで楽しもう秋のお出かけ事業

認定特定非営利活動法人

たすけあいの会ふれあいネットまつど

## 活動状況報告書

1 事業名称            みんなで楽しもう秋のお出かけ事業

2 実施主体

■団体名   ： 認定特定非営利活動法人 たすけあいの会 ふれあいネットまつど

■従事者数： 7人

■団体概要： 高齢者、障がい者、子どもをはじめ地域に住む誰もが持っている「住み慣れた街で自分らしく人間らしく暮らしたい」という願いを実現するため、

1. 手助けを必要とする人へ困ったときはお互いさまの精神でたすけあい活動に取り組みます（対人援助活動）
2. 支え合い助け合いのある地域社会づくり活動に取り組みます（社会活動）

3 事業の実施内容

■みんなで楽しもう秋のお出かけ事業

日 付	作 業 内 容
6月17日	役員会にて当事業の担当理事を決める。
8月9日	第1回実行委員会開催 行き先の検討などを行う。
8月24日	行き先の下見を行い、行き先を確定した。
9月1日	参加者（市民・市民ボランティア・当会会員）の募集を行う。
9月27日	市民ボランティアを対象とした説明会を実施当事業の説明、簡単な介助（車いす介助）の説明を行う。 市民ボランティア4名が参加。
10月17日	第2回実行委員会開催 当日のスケジュールの確認と雨天対策を確認した。
10月19日	「みんなで楽しもう秋のお出かけ事業」を実施。 8時～8時半 松戸市内出発 午前：牛久大仏（見学） 阿見アウトレットプレミアムモール（昼食・観光） 午後：取手キリンビール工場見学 16時～16時半 松戸市内到着・解散 <参加人数> 当会ボランティア会員 15名 当会利用会員 9名 （当会ボランティア会員と当会利用会員の合計目標25名） 市民ボランティア 11名（目標15名） 合 計 35名
11月29日	第3回実行委員会開催 振り返りを行った。

## 4 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

#### <参加人数について>

市民ボランティアへの参加者募集は、市民センターへのチラシ配架・掲示、ホームページなどのウェブ媒体なども活用して募りました。しかし、目標としていた15名を達成することができませんでした。参加者が増えなかった要因としては、広報まつどへの掲載をしなかったことなどが考えられます。

事業実施当日は、障がいをお持ちの方が4名、そのうち車イスを利用されている方が1名おりました。

#### <事前説明会の実施について>

市民ボランティアを対象とした説明会を実施し、当事業の説明、簡単な介助（車いす介助）の説明を行いました。

市民ボランティア11名のうち4名が参加し、当日参加できなかった市民ボランティアには郵送にて当日資料をお送りしました。

### (2) 事業課題の解決について

高齢者や障がいをお持ちの方からは、遠方の外出ができて良かったとの感想があった。

また、車いす利用者とその家族からはゆっくりとした行程でかつ、市民ボランティアが車いすを押していただけるなど大変助かりました、などの意見があり、当事者が外出する新たな機会になりました。

一部の市民ボランティアには当会協力会員になる人、会員になるわけではないが、イベントに参加・手伝うなどでの関わりができました。

障がいをお持ちの方と、市民ボランティアの方が、交流する良い機会となりました。

## 5 今後の事業展開

健常者と高齢者・障がいをお持ちの方の交流をバスツアーというカタチを模索するとともにそれ以外の方法での開催を検討し、事業を発展させていきたいです。

## 収支決算書

### 【事業費収入額（収入）】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 20,000	¥ 35,000	¥ ▲15,000	1,000円参加料×35名
	団体拠出金	¥ 34,120	¥ 14,178	¥ 19,942	経費の一部を団体の会計から拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 54,120	¥ 49,178	¥ 4,942	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 99,000	¥ 99,000	¥ 0	←精算額
<b>合計額 (C) = (A+B)</b>		<b>¥ 153,120</b>	<b>¥ 148,178</b>	<b>¥ 4,942</b>	

### 【事業費の支出額（支出）】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	委託料	¥ 73,000	¥ 116,060	¥ ▲43,060	観光バスレンタル・運転代行料等
	印刷製本費	¥ 5,000	¥ 7,710	¥ ▲2,710	参加者・ボランティア募集用チラシ (1600部)
		¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	チラシを2種類作成予定でしたが、1種類の作成だったため使用しませんでした。
		¥ 4,000	¥ 1,700	¥ 2,300	集合写真現像代
	保険料	¥ 1,120	¥ 1,148	¥ ▲28	28円×41人分 (6名から当日キャンセルがある)
	使用料	¥ 7,500	¥ 7,700	¥ ▲200	拝観料700円×11人分
	食糧費	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	昼食会場がフードコートで参加者各自で飲食したため
				¥ 0	
	<b>対象経費の合計 (D)</b>	<b>¥ 110,620</b>	<b>¥ 134,318</b>	<b>¥ ▲23,698</b>	
(その他) 経費	交通費	¥ 5,000	¥ 1,260	¥ 3,740	下見時高速道路代 阿見東IC→流山IC
	使用料	¥ 37,500	¥ 12,600	¥ 24,900	拝観料700円×18名 (会員分)
				¥ 0	
	<b>その他経費の合計額 (E)</b>	<b>¥ 42,500</b>	<b>¥ 13,860</b>	<b>¥ 28,640</b>	
<b>合計額 (F) = (D+E)</b>		<b>¥ 153,120</b>	<b>¥ 148,178</b>	<b>¥ 4,942</b>	

#### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ -
------------	-----

## 収支内訳書

## 【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	事業収入	¥ 35,000	1000円 * 35人	参加料
	団体拠出金	¥ 14,178		経費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 49,178		
市	市民活動助成金	¥ 99,000		
合 計 額		¥ 148,178		

## 【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	委託料	¥ 116,060		観光バスレンタル・運転代行料等
	印刷製本費	¥ 7,710	1,600部	参加者募集チラシ
		¥ 1,700	20円 * 85枚	集合写真など現像代
	保険料	¥ 1,148	28円 * 41人	ボランティア行事用保険
	使用料	¥ 7,700	700円 * 11名	市民ボランティアの牛久大仏拝観料
	食糧費	¥ 0		昼食会場がフードコートで参加者各自で飲食したため
対象経費の合計		¥ 134,318		
その他経費	交通費	¥ 1,260		下見時高速道路代 阿見東IC→流山IC
	使用料	¥ 12,600	700円 * 18名	会員の牛久大仏拝観料
	その他経費の合計	¥ 13,860		
合 計 額		¥ 148,178		



野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！

地域猫スタート相談会事業

松戸地域猫スタートサポート

## 活動状況報告書

1 事業名称 野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談会事業

2 実施主体

- 団体名： 松戸地域猫スタートサポート
- 従事者数： 5名
- 団体概要： 飼い主のいない屋外猫の繁殖を止める事を目的とし環境保全を考え、地域猫活動が出来る市民を増やす相談会等を開催し活動者を増やす。

3 事業の実施内容

### I 相談会の毎月の定期的作業

日 付	作 業 内 容
1日～6日	チラシの企画及び作成
7日～12日	チラシの印刷発注と受取
13日～15日	市の広報掲載校正作成と提出
13日～15日	チラシのポスティングやPR活動
13日～15日	打ち合わせ及び準備
基本第4水曜日午後	相談会の実施 各予定した市民センター等
25日～月末	翌月の事業企画打ち合わせ

### II 野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談会の実施

実施日	相談会の開催場所、参加者数
2019年4月24日	馬橋東市民センター 8名
2019年5月22日	松飛台市民センター 6名
2019年6月26日	松戸市民会館 32名
2019年7月24日	東部スポーツパーク 7名
2019年8月10日	明市民センター 7名
2019年8月28日	新松戸市民センター 12名
2019年9月7日	古ヶ崎市民センター 8名
2019年9月21日	八ヶ崎市民センター 6名
2019年9月25日	六実市民センター 4名
2019年10月5日	馬橋東市民センター 7名
2019年10月23日	まつど市民活動サポートセンター 4名

2019年10月30日	小金原市民センター	5名
2019年11月1日	松戸勤労会館	3名
2019年11月13日	常盤平市民センター	14名
2019年11月16日	馬橋市民センター	7名
2019年11月27日	松戸市民会館	8名
2019年12月7日	馬橋東市民センター	5名
2019年12月18日	東部市民センター	6名
2020年1月22日	明市民センター	7名
2020年1月29日	松戸市民会館	9名
2020年2月19日	二十世紀ヶ丘市民センター	4名

2020年3月11日及び25日は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から開催中止。  
2019年4月24日から2020年2月19日までの参加者合計169名。

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的及び目標の達成について

参加された市民の方は活動をしたけれど何から始めればよいか分からないという悩みが多かったです。参加された皆様は相談会のセミナーで沢山の知識を得て下さり、これから何ができるのかを学んでいただきました。当初目標としていた参加人数100名を大きく上回り169名の市民の皆様に参加していただき、とてもとても遣り甲斐のある事業だと感じました。尚、2019年6月26日の松戸市民会館での開催時には最大の32名の参加者でした。

アンケートや電話での確認で、参加された90%以上の方が「参加して良かった」と、喜んでくださり、目標以上の結果となりました。

アンケートを見返して悩みがある方にアプローチや、フォローしたところ、悩みの解決につながりました。今後も新たな問題が出てきますし、すぐに解決できない問題もあるかと思いますので、個別相談等でサポートしていきたいです。

##### (2) 取り組んだ課題の解決について

相談会参加後に活動を開始した方が7割以上いますが、参加日時が違っていても参加者の中で近くに住んでいる方同士をご紹介して、稔台で3人1グループ、新松戸で3人と1グループと4人1グループ、栄町で2人1グループ、上本郷で3人1グループをマッチングすることができました。そして個人で相談会に来られて始められた方も大勢おり、本事業の成果を大きく感じております。

活動されている方々の悩みで、現場で住民の理解や賛同を得るのが大変だという問題が多かったので、私達も現場と一緒に外向き解決するなどの個別サポートも行い、成果となっております。

## 5 今後の事業展開

松戸市民約50万人ともなれば、飼い主のいない屋外猫の問題は、完全な解決に時間が必要だと感じています。そして、市民の皆様へ未だ私達の相談会の開催が知れ渡っていないという状況は、啓発活動が足りなく行き届いてないと考えます。松戸市は広くて周知が直ぐには行き届かないので、新しいアイデアを出しながらチラシのポスティングだけではなく、周知方法についても考え、市民の皆様へこの事業を知ってもらうための方法を考えなくてはならないと思います。

参加して下さった皆様から、感謝のお言葉を頂けるこの活動が無駄になるのはもったいないと思うので、活動内容のなかで事業周知を今後の最優先事項として行っていきます。

2020年度の活動に向けて、前年度より参加者を増やしたいので、月1度の相談会と共に、広報活動に力を入れて沢山の市民の皆様へお伝えしなくてはならないと考えます。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 64,460	¥ 90,166	¥ ▲25,706	対象事業費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 64,460	¥ 90,166	¥ ▲25,706	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 164,460	¥ 190,166	¥ ▲25,706	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料	¥ 10,080	¥ 23,436	¥ ▲13,356	DVD資料使用料 市民センター使用料
	報償費	¥ 60,000	¥ 0	¥ 60,000	相談会の講師を団体内会員が行ったため不使用
	印刷製本費	¥ 30,840	¥ 37,238	¥ ▲6,398	カラーチラシ印刷 モノクロチラシ印刷
	消耗品費	¥ 5,060	¥ 31,895	¥ ▲26,835	プリンターインク 配布用封筒 他
	食糧費	¥ 12,000	¥ 10,591	¥ 1,409	相談会参加者用お茶菓子
	通信費	¥ 8,400	¥ 0	¥ 8,400	領収書不備のためその他経費にて計上
	委託料	¥ 10,000	¥ 12,210	¥ ▲2,210	チラシ配布委託
	対象経費の合計 (D)		¥ 136,380	¥ 115,370	¥ 21,010
(対象外)経費	食糧費	¥ 18,000	¥ 39,396	¥ ▲21,396	構成員昼食代・相談会参加者用お茶菓子
	交通費	¥ 10,080	¥ 21,000	¥ ▲10,920	構成員交通費
	通信費	¥ 0	¥ 14,400	¥ ▲14,400	定形郵便(切手・はがき代)【領収書不備】
	その他経費の合計額 (E)		¥ 28,080	¥ 74,796	¥ ▲46,716
合計額 (F) = (D+E)		¥ 164,460	¥ 190,166	¥ ▲25,706	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 90,166	対象事業費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 90,166	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合 計 額	¥ 190,166	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項
助成金の交付対象経費	使用料	¥ 23,436	使用許可DVD資料 16,200円 公共施設の使用料 10,260円
	印刷製本費	¥ 37,238	広報カラーチラシの印刷代 33,488円 広報モノクロチラシ印刷・アンケート、報告モノクロチラシ印刷 3,750円
	消耗品費	¥ 31,895	プリンターインク 13,111円 ボールペン・配布用封筒 4,431円 文具代他 11,329円
	食糧費	¥ 10,591	相談会時のお茶菓子代
	委託料	¥ 12,210	チラシ配布新聞折込 4,070円 (10,000枚) 8,140円 (2,000枚)
	対象経費の合計	¥ 115,370	
その他経費	食糧費	¥ 39,396	構成員昼食代 600円×3人×21回=37,800円 ・ 相談会時のお菓子代 1,596円
	交通費	¥ 21,000	バス・電車 (各自宅より会場) 500円×2人×21回
	通信費	¥ 14,400	切手・はがき代
	その他経費の合計	¥ 74,796	
	計 額	¥ 190,166	

プレママ教室事業

ふふふママ大学

## 活動状況報告書

1 事業名称 プレママ教室事業

2 実施主体

■団体名：ぶぶぶママ大学

従事者数：5名

団体概要：プレママたちを応援する団体。良いお産が良い育児のスタートとなることから、より良い出産に向けて、また育児に役立つプレママ教室を企画・運営しています。

3 事業の実施内容

### 第1期プレママ教室実施の実施

日付	作業内容
3月23日	第一期プレママ教室の打合せ
3月29日	チラシとリーフレットの企画及び作成
	市の広報掲載依頼 6月15日号
5月19日	チラシとリーフレットの印刷
5月17日～5月28日	チラシのPR活動（写真館、ドコモ・auショップ、街店舗、コンビニ、SNS、産婦人科4院） まつどde子育てライン7月号配信分
6月30日	プレママ・プレパパ教室、第1期・第一回、新松戸市民センター 講師・鎌田智子助産師 母乳育児勉強会（参加者5人）
7月21日	プレママ・プレパパ教室、第1期・第二回、新松戸市民センター マタニティヨガ（参加者7人）
7月28日	プレママ・プレパパ教室、第1期・第三回、金ヶ作熊野神社 講師・宮司 日本伝統文化のお話（参加者2人）
8月4日	プレママ・プレパパ教室・第1期・第四回、新松戸市民センター 愛着って何？勉強会（参加者4人）

第2期・プレママ教室実施

日 付	作 業 内 容
9月7日	内容の見直し、打ち合わせ
9月10日	チラシの印刷
9月14日	まつど de 子育てライン 10月号配信 チラシのPR活動（写真館、ドコモ・au ショップ、街店舗、コンビニ、SNS、産婦人科4院）
10月6日	プレママ・プレパパ教室、第2期・第一回、新松戸市民センター 講師・鎌田智子助産師 母乳育児勉強会（参加者10人）
10月27日	プレママ・プレパパ教室、第2期・第二回、新松戸市民センター 愛着って何？勉強会（参加者6人）
11月10日	プレママ・プレパパ教室、第2期・第三回、新松戸市民センター マタニティヨガ（参加者2人）
11月24日	プレママ・プレパパ教室、第2期・第四回、金ヶ作熊野神社 講師・宮司 日本伝統文化のお話（参加者2人）

第3期・プレママ教室実施

日 付	作 業 内 容
12月7日	第3期打ち合せ、チラシ作成
1月10日	チラシの印刷
1月15日	市の広報掲載（1月15日号）
1月16日～1月28日	チラシPR活動 まつど de 子育てライン 1、2月号配信 チラシのPR活動（写真館、ドコモ・au ショップ、街店舗、コンビニ、SNS、産婦人科4院、助産院1院）
2月2日	プレママ・プレパパ教室、第3期・第一回、新松戸市民センター 講師・鎌田智子助産師 母乳育児勉強会（参加者4人）
2月23日	プレママ・プレパパ教室、第3期・第二回、新松戸市民センター 『まつどっ子未来のために今』愛着形成、子どもの睡眠、脳の発達の勉強会 講師・西山幸子（松戸市教育委員会生涯学習課） （参加者8人）
3月15、29日	プレママ・プレパパ教室、第3期・第三回、第四回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的及び目標の達成について

計画書では、全 4 回の全参加型でしたが参加の申込みがなく、参加したい講座を選んで参加するスポット型に変更しました。そのため予算の会費収入は大幅に減りました。参加目標人数 45 人が、実際には実数 31 人、延べ人数 50 人でした。参加総数は 50 人でした。

アンケートは毎回 10 分の時間を取り書いていただきました。たくさんの感想や意見をいただきました。

回終了後にメールでご挨拶を入れると、ぶぶぶママ大学のプレママ教室に全 4 回参加できて良かったとのご意見や、3 回参加して本当に楽しかったです、無事に出産できました！や、2 回参加しましたが母乳育児に役立っていますや、はじめは緊張しましたが参加して良かったと思っています、というお声をいただいています。

##### (2) 取り組んだ課題の解決について

参加人数は 31 人と少人数でしたが、アンケートは 5 段階評価で平均 4.79 と高評価でした。アンケートでは参加して良かった、との意見が多かったです。

参加者同士が顔見知りになり一緒に帰る様子を見ることができたり、産後すぐに始まる母乳育児の知恵を豊かに学び、愛着形成は日頃の赤ちゃんのお世話から形成されることを知り、先輩ママの経験談からはたくさんの子育ての知恵を聞け、マタニティヨガでは心地よく身体を動かして、セルフケアを知り、産後向けての『予習』のような回になったと感じています。

来期はもっと多くの方に参加してもらえるように周知活動に力を入れていきます。

#### 5 今後の事業展開

事業計画では東松戸地区、松戸地区、新松戸地区と地区を分けて募集する計画でしたが、第 1 期の東松戸地区に若いご夫婦が多い中、申し込みがなく、地区別での開催は難しいと判断し変更しました。地区別ではなく時期別にし、第 1 期、第 2 期、第 3 期として年 3 回計画に変更しました。

また、全 4 回シリーズ全参加型と計画し、定員は 15 人（15 組）としていましたが、参加者が少ないことから好きな講座だけスポットで参加できるように変更しました。

現在、参加者実数は 31 人、延べ人数は 50 人。一回 500 円の会費で 25000 円の会費収入となり、予算案とは大きな違いが出ています。

来年度は毎回 10 人の参加となるように以下の対策を考えました。

- ①ぶぶぶママ大学のプレママ教室を知ってもらう努力をし続ける。
- ②今年度は出来なかった各町内会の回覧版にチラシを挟んでももらう依頼をする。
- ③まつどで子育てラインに開催月前に月 2 回、開催のお知らせを流していただく。
- ④多くの産婦人科にチラシを置いていただけるよう努力を続ける。
- ⑤開催場所を検討する。(北総線・新京成線・JR 線ごとに考えてみる。町内会館なども)

## 収支決算書

【収入】

(単位:円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 90,000	¥ 25,000	¥ 65,000	講座参加料500円×50名
	ぶぶぶママ大学団体拠出金	¥ 11,400	¥ 7,007	¥ 4,393	経費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 0	¥ 10,000	¥ ▲10,000	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 101,400	¥ 42,007	¥ 59,393	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 201,400	¥ 142,007	¥ 59,393	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	¥ / 75,000	¥ 15,000	外部講師謝礼 15,000円×5回
	消耗品費	¥ 25,600	¥ / 34,717	¥ ▲9,117	名札材料、衛生用品、SDカード、PCケーブル、布地リーフレット立て、用紙、プリンターインク
	食糧費	¥ 600	¥ 0	¥ 600	講師水代(領収書不備のため対象外経費に積算。)
	印刷製本費	¥ 49,050	¥ / 30,800	¥ 18,250	チラシ印刷、リーフレット印刷、冊子印刷
	保険料	¥ 4,050	¥ 0	¥ 4,050	行事保険(講座型の為保険不要と判断した為0円)
	委託料	¥ 22,500	¥ 0	¥ 22,500	HP作成(ボランティアにより作成した為0円)
	使用料	¥ 9,600	¥ 0	¥ 9,600	会場使用料(公用で使用した為0円)
		対象経費の合計(D)	¥ 201,400	¥ / 140,517	¥ 60,883
(その他経費)	食糧費	¥ 0	¥ 1,490	¥ ▲1,490	講師用飲料ペットボトル×11本
	その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 1,490	¥ ▲1,490	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 201,400	¥ 142,007	¥ 59,393	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	事業収入	¥ 25,000	講座参加料500円×50名 1期(1回5名 2回7名 3回2名 4回4名) 2期(1回10名 2回6名 3回2名 4回2名) 3期(1回4名 2回8名)
	ぶぶぶママ大学団体拠出金	¥ 7,007	経費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 10,000	当団体への寄付金 10,000円×1名
	自己資金の合計額	¥ 42,007	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合計額	¥ 142,007	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 75,000	講師謝礼 講師名 助産師 鎌田智子氏 15,000円×3回 講師名 金ヶ作熊野神社 15,000円×2回
	消耗品費	¥ 34,717	カラーペーパー、折り紙、厚紙、模造紙、マスキングテープ、セロハンテープ、ラミネートシール、ピンチ、リーフレット立て、PCケーブル、カメラ用SDカード、教材用布地、アルコールスプレー、BOXティッシュ、ウェットシート絆創膏、印刷用紙100枚、プリンタインクセット3セット
	印刷製本費	¥ 30,800	チラシ、リーフレット 900部 マタニティ胎教ダイアリー 60冊
	対象経費の合計	¥ 140,517	
その他経費	食糧費	¥ 1,490	講師のお茶ペットボトル 11本 (領収書不備のため対象外経費として積算)
	その他経費の合計	¥ 1,490	
	合計額	¥ 142,007	



マジック演技を通し  
高齢者に元気をあたえる事業

和気あいあいマジッククラブ会



(2) 出前公演の実施

日 付	出前公演先	対象人数	当方人数	備考	
4月8日	ソラスト新松戸	35	6	テイベース	
5月12日	胡録台第一子供会	45	9	子供会	
5月15日	八ヶ崎ふれあい会食会	50	5	社会福祉協議会	
5月24日	かがやきテイベース	45	8	テイベース	
6月18日	上本郷ふれあい会食会	50	3	社会福祉協議会	
6月20日	癒しのテイベース松戸	45	5	テイベース	
7月15日	竜房台長寿会	15	4	町内老人会	
7月23日	常盤平ふれあい会食会	115	5	社会福祉協議会	
8月2日	ルポゼ東松戸テイベース	15	4	テイベース	
9月16日	八ヶ崎第2町会敬老会	60	5	町内老人会	
10月21日	新松戸ふれあい会食会	110	5	社会福祉協議会	
11月10日	馬橋地区ふれあい広場	30	3	松戸第3中学校	
11月17日	ポンセジュール北松戸	40	7	有料老人ホーム	
12月7日	パナソニックエイジフリーハウス	45	5	サービス付き高齢者向け住宅	
1月15日	癒しのテイベース松戸	35	6	テイベース	
	<b>合計 15 先</b>	<b>735</b>	<b>80</b>		

4 事業成果について

(1) 事業目的及び目標の達成について

事業目的

マジック演技を高齢者施設・公共施設等で披露し高齢者の方々と“楽しみ”を共有する。  
加えて、入居者の方々と我々自身の健康維持を目標に活動を実施し、ほぼ目標を達成出来た。

活動の目標

- |              |                    |    |      |     |      |
|--------------|--------------------|----|------|-----|------|
| 1. 年間の出前公演回数 | 10回                | 実績 | 15回  | 達成率 | 150% |
| 2. 対象人数      | 400人超              | 実績 | 735人 | 達成率 | 183% |
| 3. 出演回数      | 各自7回以上             |    |      |     |      |
|              | 当初のメンバーは10人で、延べ70人 | 実績 | 80人  | 達成率 | 114% |
| 4. 年間練習回数    | 24回                | 実績 | 21回  | 達成率 | 87%  |

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、3回休講し未達となりました。

(2) 取り組んだ課題の解決について

現在社会での高齢化率が進んでいる中、高齢者の健康寿命を少しでも伸ばす為、特に福祉施設入居者や、利用者に喜んでもらえるよう“マジック”を披露した。

アンケートを実施（9件回収）、結果は ◎楽しかった7件。内容も良かった5件。との評価を得ました。福祉施設入居者、利用者の方々に喜んで頂き、当初の目的を達成できたと自負しております。

5 今後の事業展開

高齢者対象に留まらず、児童・幼児向けの出前公演を目標に加えたい。実績は子供会向けに1回の出前公演に終わった。今後は市民活動サポートセンターや、社会福祉協議会とも連携を密に取り、対象先を積極的にリサーチし当方からアプローチをいたしたい。

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 47,646	¥ 76,248	¥ ▲28,602	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 47,646	¥ 76,248	¥ ▲28,602	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 147,646	¥ 176,248	¥ ▲28,602	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	通信費	¥ 1,640	¥ 1,230	¥ 410	アンケート返信用郵便料金 82円×15回=1,230円
	消耗品費	¥ 7,642	¥ 7,624	¥ 18	プリンターインク 7,624円
		¥ 26,460	¥ 57,880	¥ ▲5,976	舞台用衣装 ベスト 2,894円×11=31,834円 舞台用衣装 サングラス 2,894円×9=26,046円
		¥ 25,444			
		¥ 5,300	¥ 33,588	¥ 12	手品用トランプ 450×12= 5,400円 手品用シルク 530×20=10,600円 手品用ローフ 1,510×10=15,100円 合計 31,100円
		¥ 11,880			
		¥ 16,420			消費税 8% 2,488円 合計 33,588円
		¥ 3,660	¥ 2,910	¥ 750	凝固剤 485円×6セット=2,910円 1セット10個
	会場費	¥ 19,200	¥ 16,800	¥ 2,400	練習会場会場費 800円×21回=16,800円
	対象経費の合計(D)		¥ 117,646	¥ 120,032	¥ ▲2,386
(その他経費)	報償費	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ 0	内部講師に対する謝礼
	交通費	¥ 10,000	¥ 13,520	¥ ▲3,520	500円×25回=12,500円 JR交通費 1,020円
	事務用品・教材費		¥ 10,124	¥ ▲10,124	事務用品 7,124円 教材費 3,000円
	衣装代		¥ 12,572	¥ ▲12,572	衣装代 12,572円
その他経費の合計額 (E)		¥ 30,000	¥ 56,216	¥ ▲26,216	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 147,646	¥ 176,248	¥ ▲28,602	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 76,248	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 76,248	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合計額	¥ 176,248	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	通信費	¥ 1,230	アンケート返信用郵便料金 82円×15回=1,230円
	消耗品費	¥ 102,002	プリンターインク代 7,624円 舞台用衣装 ハット・サングラス 31,834円+26,046円=57,880円 手品用トランプ 5,400円+手品用シルク 10,600円+手品用ロープ 15,100円=31,100円+税2,488円=33,588円 凝固剤 485円×6セット=2,910円
	使用料	¥ 16,800	練習場会場費 800円×21回=16,800円
	対象経費の合計	¥ 120,032	
その他 経費	報酬費	¥ 20,000	内部講師謝礼 20,000円
	交通費	¥ 13,520	出前公演ガソリン代 500円×25回=12,500円 用品購入時のJR運賃 1,020円
	事務用品・教材費	¥ 10,124	事務用品 7,124円 教材費 3,000円
	衣装代	¥ 12,572	衣装代 12,572円
	その他経費の合計	¥ 56,216	
	合計額	¥ 176,248	

## 音楽活動による地域交流事業

Ensemble Ponte

## 活動状況報告書

1 事業名称                      音楽活動による地域交流事業

2 実施主体

- 団体名：                      Ensemble Ponte
- 従事者数：                    5名
- 団体概要：                    市民センターや福祉施設等で演奏会を行う。  
演奏を聴いたり一緒に歌ったりする企画を開催し、  
参加者の集いの場となる空間を提供することで  
地域の交流を図る団体。

3 事業の実施内容

### I Ponte 歌声コンサート⑮ 開催（馬橋市民センター）

日 付	作 業 内 容
4月7日	チラシ印刷
4月8日～4月12日	ポスティング用書類封入作業
4月13日	ポスティング・市役所へチラシ配布依頼
5月1日	練習① 打ち合わせ
5月9日	練習② プログラム・歌詞カード作成
5月12日	Ponte 歌声コンサート⑮ 開催 28人 ホルン奏者助演

### II Ponte 歌声コンサート⑯ 開催（馬橋市民センター）

日 付	作 業 内 容
5月17日	企画打ち合わせ
6月1日	チラシ印刷
6月11日～6月15日	ポスティング用書類封入作業
6月16日	ポスティング・市役所へチラシ配布依頼
7月4日	練習① 打ち合わせ
7月10日	練習② プログラム・歌詞カード作成
5月12日	Ponte 歌声コンサート⑯ 開催 35人 ホルン奏者助演

Ⅲ Ponte 歌声コンサート⑰ 開催 (馬橋市民センター)

日 付	作 業 内 容
7月31日	企画打ち合わせ
8月4日	チラシ印刷
8月11日～8月15日	ポスティング用書類封入作業
8月16日	ポスティング・市役所へチラシ配布依頼
9月13日	練習① 打ち合わせ
9月19日	練習② プログラム・歌詞カード作成
9月23日	Ponte 歌声コンサート⑰ 開催 53人 ホルン奏者助演

Ⅳ Ponte 歌声コンサート⑱ 開催 (小金市民センター)

日 付	作 業 内 容
10月18日	企画打ち合わせ
11月9日	チラシ印刷
11月10日～11月13日	ポスティング用書類封入作業
11月14日	ポスティング・市役所へチラシ配布依頼
12月5日	練習① 打ち合わせ
12月10日	練習② (Pf4手のみ)
12月11日	練習③ プログラム・歌詞カード作成
12月15日	Ponte 歌声コンサート⑱ 開催 44人 ホルン奏者助演

Ⅴ Ponte 歌声コンサート⑲

コロナウイルスの感染拡大予防につき開催中止 (馬橋市民センター)

日 付	作 業 内 容
12月22日	企画打ち合わせ
1月31日	チラシ印刷
2月10日～2月13日	ポスティング用書類封入作業
2月14日	ポスティング・市役所へチラシ配布依頼
3月1日	開催中止 お知らせ作成・はがき郵送作業
3月5日	練習① 打ち合わせ→開催中止ポスター配布
3月12日	練習② プログラム・歌詞カード作成 中止
3月20日	Ponte 歌声コンサート⑲ 開催中止

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的及び目標の達成について

市民が世代問わず一緒に楽しめる環境づくりを目的とし、高齢者の引きこもり対策につながるよう活動を行った。

その中で、コンサートに参加してくださる参加者の表情や会話を通して団体の目的である“市民が世代問わず一緒に楽しめる環境づくり”や“心身ともに充実を図る”という目的を達成できていると感じることができた。

夫婦で参加する人・友達と参加する人・コンサートを通して参加者同士で会話をするようになった人・親子連れ・障害、介護施設の利用者の方々。

多くの人の外出するきっかけ作りになることができ、音楽の大切さや活動の必要性を感じる事が出来た。

目標 ①歌声コンサートの参加人数を増やす。

- ・前年度より参加人数を増やすことが出来たが、平均参加人数を努力目標の70人にするにはできなかった。

※参加人数平均40人（前年度より10人増えた）

目標 ②Spring Concert でアンケートを実践。満足度80%以上

- ・Spring Concert 以外のコンサートでアンケートを2回実施。

参加者の楽曲のリクエストや満足度の調査を行い、意見を取り入れ満足度を向上させた。※満足度90%達成

（9月23日 Vol. ⑰・12月15日 Vol. ⑱にて実践）

目標 ③広報活動に尽力し、団体及び演奏会の認知度を高める。

広報活動の効果が見られた。

- ・無料掲載誌や広報松戸への掲載を取り入れた。
- ・チラシの配布枚数を600部以上に増やすことで多くの人の目にとまるようにした。

目標 ④参加者の希望に沿った楽曲の提供をする。

コンサートを通して参加者とのコミュニケーションをおおく取るように心掛けた。

- ・コンサート終了後など会話を大切に参加者の声に耳を傾け情報収集した。

希望に答えた曲数

- ・1回のコンサートで2曲は希望の楽曲を取り入れた。

※リクエストは、合計10曲演奏した。

## (2) 取り組んだ課題の解決について

### ①高齢者の引きこもり防止について

- ・前年度に比べ新規の参加者が 60 名増えた。

認知度を上げることにより、コンサートの開催を知り、足を運ぶ高齢者が増えた。また、コンサートに参加することで参加者同士のコミュニケーションが増えたり、知人や家族を連れて参加する参加者が多く見られた。

20 代～50 代の若い世代の参加者も前年度より見受けられた。

### ②音楽文化の衰退について

- ・コンサートを通して日本の童謡・唱歌を若年層にも普及させたいという思いからコンサートでは必ず曲目に童謡・唱歌を取り入れた。

また、オリジナルアレンジをとりいれ多くの方に音楽の楽しさや、美しさ楽器の生演奏という非日常感を体感し笑顔溢れる空間を過ごしてもらうことが出来た。

※アンケートを実施することで、参加者の満足度を調査しコンサート終了後などコミュニケーションを取る中で成果を感じる事が出来た。

### ③市民劇場での Spring Concert の開催について

- ・3月に行う予定だった Spring Concert は当初予定していた市民劇場のホールを押さえることが難しかったことと、規模の大きなホールで開催するにあたり集客面でもまだ不安な面も見受けられたため、馬橋市民センターで開催することに決定したが、コロナウイルスの影響で中止となった。

## 5 今後の事業展開

参加者からの意見や要望を少しでも多く答えることを実践し、リピーターや新規参加者も多くなったが目標にしていた平均参加人数70人以上を達成することが出来なかった。

だが、今年度タウン誌や広報松戸への情報掲載をはじめ、各市民センターや地域の施設などにチラシの掲示を依頼したことによって、認知度を上げることが出来た。

(去年より参加人数が、多くなった)

今後はリピーターは勿論、参加者をさらに増やせるよう口コミ協力を依頼したり、他のイベントへ参加したり、広報活動についても継続して力を入れ目標参加人数を達成できるように尽力し活動を続けていきたい。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 170,000	¥ 80,000	¥ 90,000	歌声コンサート参加費 500円* 160人 (延べ人数)
		¥ 110,000	¥ 0	¥ 110,000	Spring Concert参加費 (開催中止)
				¥ 0	
	団体拠出金	¥ 30,000	¥ 77,222	¥ ▲47,222	対象事業の一部及び対象経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 310,000	¥ 157,222	¥ 152,778	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 410,000	¥ 257,222	¥ 152,778	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 55,000	¥ 20,000	¥ 35,000	賛助謝礼 4回×5,000円	
	印刷費	¥ 15,876	¥ 12,656	¥ 3,220	チラシ印刷代 10,216円 ポスター印刷代(コピー代) 2,440円	
		¥ 22,546	¥ 0	¥ 22,546	外注しなかったため	
	使用料及び賃借料	¥ 22,860	¥ 11,110	¥ 11,750	市民センター会場使用料 馬橋市民センター3回 小金市民センター1回	
		¥ 91,690	¥ 0	¥ 91,690	松戸市民劇場 ホール使用料 (開催中止)	
		¥ 11,804	¥ 0	¥ 11,804	JASRAC 楽曲使用料	
	通信運搬費	¥ 35,600	¥ 57,876	¥ ▲22,276	切手	
		¥ 0	¥ 4,390	¥ ▲4,390	はがき	
	消耗品費	¥ 7,434	¥ 16,332	¥ ▲8,898	封筒 4,718円 文房具 8,704円 はがき代2,910円	
		¥ 12,886	¥ 20,846	¥ ▲7,960	印刷用紙 500枚×13冊 B5印刷用紙1冊 インク代・クリアホルダー・ラミネーター・USBメモリ・クリアカバー	
		¥ 10,000	¥ 3,680	¥ 6,320	楽譜・資料	
	食糧費	¥ 19,560	¥ 8,877	¥ 10,683	来場者お茶代 ケース 軽食	
	対象経費の合計 (D)	¥ 305,256	¥ 155,767	¥ 149,489		
	(対象外) 其他経費	食糧費	¥ 12,750	¥ 12,000	¥ 750	昼食代
				¥ 1,500	¥ ▲1,500	賛助・スタッフ・会員お茶代*150×10本
交通費		¥ 76,994	¥ 73,955	¥ 3,039	交通費	
雑費		¥ 15,000	¥ 14,000	¥ 1,000	衣装代	
其他経費の合計額 (E)		¥ 104,744	¥ 101,455	¥ 3,289		
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 410,000	¥ 257,222	¥ 152,778		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項 ※収支決算書の積算内訳の詳細を記載
団体	事業収入	¥ 80,000	歌声コンサート参加費500円 *160人(延べ人数)
	団体拠出金	¥ 77,222	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 157,222	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合計額	¥ 257,222	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項(用途など) ※収支決算書の積算内訳の詳細を記載
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 20,000	賛助謝礼 4回×5,000円
	印刷製本費	¥ 12,656	チラシ印刷代 1,944円×2回 2,830円×1回 1,870円×1回 1,628円×1回 ポスター印刷(コピー代) 2,440円
	使用料	¥ 11,110	会場使用料 馬橋市民センター 3回 2,800円×2 2,670円 小金市民センター 1回 2,840円
	通信費	¥ 57,876	切手 62円×389枚 63円×341枚 10円×6枚 120円×2枚 1円×5枚
		¥ 4,390	62円はがき×20枚 ・参加者への案内状 63円はがき×50枚
	消耗品費	¥ 16,332	封筒 長3封筒 2200枚 角形2号 23枚 4,718円 文具 8,704円 はがき 960枚 2,910円
		¥ 20,846	A4印刷用紙(500枚×13冊)・B5印刷用紙 500枚×1冊 5,478円 プリンターインク代 6,639円 クリアホルダー 496円 ラミネーター 3,980円 USBメモリ2,510円 クリアカバー1,743円
		¥ 3,680	楽譜・資料
	食糧費	¥ 8,877	参加者お茶代(6ケース×1120円) 軽食
		¥ 155,767	対象経費の合計
その他経費	食糧費	¥ 12,000	昼食代
		¥ 1,500	賛助・スタッフお茶代 *150×10本
	交通費	¥ 73,955	交通費
		¥ 14,000	衣装代
		¥ 101,455	その他経費の合計
	合計額	¥ 257,222	



小学生の夢を育む  
放課後改革/情報サポート事業

MIRAI のしるし

# 活動状況報告書

1 事業名称 小学生の夢を育む放課後改革/情報サポート事業

2 実施主体

団体名: MIRAI のしるし

従事者数: 団体正会員2名 (他イベントサポーター11名)

団体概要: 小学生への経験プログラムやワークショップの開発・実施を行うことで、子ども達の放課後アクティビティの充実化を狙う。また、展開しやすいプログラムのテンプレート/フレームワーク化を進め、地域のサポーター (大人たち) 等実施希望者への横展開の可能性を広げる。

3 事業の実施内容

## I. 遊び場・居場所情報の one-stop 情報発信 Web サイト構築 (Web)

日付	作業内容
4~5月	環境整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レンタルサーバー契約&amp;ドメイン設定---4/17</li> <li>・ houkago.site 準備中ビジュアル設定---5/1</li> </ul>
5月~8月	サイト掲載コンテンツ整備 →事業「Ⅲボランティアグループへのプログラム構築のためのフレームワーク提供やプログラム開発・実施サポート」での内容をコンテンツとして平行して準備

## II. 子どもの体験プログラム・ワークショップの企画・実施

### ①体験！メニュー開発 ~ホテルの朝食メニューを作る！~

日付	作業内容
4月	事業概要設計 (&パートナー探し)
5月~8月	プログラム開発 (内容設計&広報プラン) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日決定&amp;会場予約---5/16&lt;8/9+24 実施決定&gt;</li> <li>・ 打合せ---5/29、6/18、7/29、7/30 他、適宜電話会議</li> <li>・ 広報掲載 (夏休みアートひろば冊子、広報まつど 8/1 号掲載)</li> <li>・ フライヤー企画&amp;作成---6月中旬より配布開始。市役所設置も</li> </ul>
6月~8月	広報・PR活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Facebook イベントページ立上げ---6月上旬</li> <li>・ 申し込みフォーム開設&amp;参加者募集受付---6/18~8/6</li> </ul>

7月	学生サポーターリクルート活動 ・ Let's 体験説明会---7/20（4名決定）
8月	おしごと先生インタビュー（ビデオ撮影） ・ 先生①：日本料理店料理長（日本料理しの田：坂口氏）---8/2 ・ 先生②：イタリアンオーナーシェフ（パストール：土屋氏）---8/5
8月9日	体験プログラム Day1 実施（開発コンセプト&レシピづくり） 講師*：K&M Green Nana's 代表 元橋美登利氏、 アドバイザー*：KM コミュニケーション代表 元橋和吉氏、 NPO 法人さんま 石川静枝氏、 学生サポーター3名、小学生参加者14名
8月23日	開発メニュー食材買い出し
8月24日	体験プログラム Day2 実施（調理&売込みプラン・社長プレゼン） ※講師*、アドバイザー*は8/9同様 学生サポーター3名、小学生参加者14名

\*印は報酬支払先講師・アドバイザー

## ②みらいフェスタ/子どものまち「はたらく&つかう」

---新型コロナウイルス感染拡大防止対応により、企画途中にて企画・実施キャンセル

日付	作業内容
1月～	スキーム&プログラム開発（内容設計&広報プラン） ・ メンバー打合せ、電話会議---1/10、13 ・ みらいフェスタ参加申込---1/14
2月21日	まつど市民活動サポートセンターより開催中止連絡

## Ⅲ. ボランティアグループへのプログラム構築のためのフレームワーク提供やプログラム開発・実施サポート

日付	作業内容
5月～7月	コンテンツ取りまとめ構想・作業範囲&分担定義 （参加サポーター：2名） ・ キックオフ---5/6 ・ 電話会議---5/22 ・ 打合せ---6/11、7/2
7月～8月	コンテンツ化まとめ作業（以下メニューにて実施。パワーポイント/ワードでの文書化） ・ みらいフェスタ/子どものまち（2019実施分より） ・ 体験！メニュー開発～ホテルの朝食メニューをつくる！～

#### IV. 放課後の課題抽出・ニーズ把握のための Web アンケート実施&結果公開

日 付	作 業 内 容
6 月	アンケート概要設計---6/1~6/7 ※ Web アンケートの形式に限らず、アクセスできる対象者、機会に合わせた情報収集、課題抽出方法とすることに方針転換
6 月~8 月	アンケート/情報収集実施 ・ Web アンケート---6/18~8/6 →事業「Ⅱ. 子どもの体験プログラム・ワークショップの企画・実施/①体験！メニュー開発」の参加申込フォーム上でのアンケート実施 ・ インタビュー/ヒアリング---8/9、24 他 →事業Ⅱ/①のワークショップ参加児童&保護者への聞き取り他
9 月	アンケート/情報取りまとめ---~10 月末

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的及び目標の達成について

<p>I. 遊び場・居場所情報のインターネットサイト上での掲示：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 松戸市内小学校区分の情報サイト（場所）の設置 45 校分</li> <li>➤ 第 1 フェーズとして一部小学校区の詳細情報の掲示 3 箇所 →サーバーおよびドメインの手配は完了も、作業リソース不足のため 45 校分/3 箇所の目標達成は出来ず</li> </ul> <p>II. 子どもの体験プログラム・ワークショップの実施（2 企画）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→1 企画目としては、夏休みの 2 日間ワークショッププログラムを実施。前年(6 名)より参加者規模が倍以上(14 名)となり、開発題材も昨年のサンドイッチ単品から朝食セットとしてパワーアップして実施できた。</li> <li>→2 企画目を春休み時期開催の「みらいフェスタ」内コンテンツとして企画するも、残念ながら新型コロナウイルス対策によるイベント中止にて実現せず。</li> </ul> <p>III. 子ども向けプログラムの構築フレームワーク/コンテンツ掲示（2 個）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→事例としてのフレームワーク/コンテンツの取りまとめはできたものの、掲示する場所の I. のサイト準備が整わず、掲示は未実施。</li> </ul> <p>IV. 放課後活動に関するアンケートの実施&amp;結果公開（各 1 回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→III. 同様、アンケート自体は実施できたが、公開は未実施。</li> </ul> <p>目標に掲げたプログラム実施、コンテンツやアンケートは概ね完了したものの、掲示プラットフォームが用意できず、掲示・資源共有が実現できず、今後の課題となりました。</p>
---

## (2) 取り組んだ課題の解決について

### <提起課題>

1. 小学生の放課後の行き詰まり感・閉塞感（遊び場が無い、居場所が少ない思う保護者たち）
2. 経験機会のバラつき・格差（放課後がつまらない、興味・世界が狭い子どもたち）
3. ボランティアの不完全燃焼感（子ども達に伝えきれていない、マナビを提供きれていない）

### <課題解決状況>

課題 1 の解決に遊び場、居場所情報の抽出および掲示を目標に掲げたが、残念がなら道半ばとなった。しかしながら、夏休みの子どもの体験プログラム・ワークショップ（体験！メニュー開発～ホテルの朝食メニューを作る！～）は、単発プログラムではあるものの、提起課題 2 だけでなく、課題 1 の「場」のひとつとして、参加児童の保護者に高く評価いただきました。とはいえ、課題 2 の経験機会のバラつき・格差解消に寄与するには、活動規模を広げることが必要で、現状の開催体力では課題の解消とまではいきつかず、活動強化の余地が大きいと痛感しています。

課題 3 の、思うように子どもたちに伝えきれない、学びを提供しきれていないボランティア活動家の不完全燃焼感についても、フレームワーク・コンテンツの公開が遅れている事もあり依然として課題となっている。

総じて掲げる目標に対して提供可能な人的リソース不足を痛感しています。年間の活動目標や範囲、期待値のコントロール、および小さくても活動を継続させる努力が必要であると再認識した機会となりました。

## 5 今後の事業展開

インターネットサイト（デジタルひろば）開設については、リソース不足が課題なため、足を長くスケジュールを再考し、着実に実施しうる体制を引くことから実現に向けて仕切り直しをしたいと思います。

コンテンツ開発&実施（実証実験）、およびコンテンツ取りまとめについては、サポート側となる大人コミュニティにもっと積極的にリーチしていきたいと考えています。

この度は助成事業という機会をいただき、その中で我々の活動を客観的に見つめ直すことができました。ありがとうございます。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体抛入金	¥ 36,000	¥ 3,923	¥ 32,077	事業費の一部を団体の会計より抛出
	事業収入	¥ 12,000	¥ 21,000	¥ ▲9,000	夏季体験プログラム参加料1500円*14名
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 48,000	¥ 24,923	¥ 23,077	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 83,043	¥ 16,957	←精算額
	合計額 (C) = (A + B)	¥ 148,000	¥ 107,966	¥ 40,034	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 10,000	¥ 20,000	ワークショップ 外部講師謝礼	
		¥ 15,000	¥ 10,000	¥ 5,000	ワークショップアドバイザー謝礼	
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 23,338	¥ ▲13,338	ワークショップ食材 & 材料費 1回分	
		¥ 2,600	¥ 5,330	¥ ▲2,730	文具(サインペン・用紙など)	
		¥ 27,000	¥ 31,212	¥ ▲4,212	作業着	
	印刷製本費	¥ 24,490	¥ 0	¥ 24,490	活動紹介パンフレット	
		¥ 3,700	¥ 480	¥ 3,220	フライヤー印刷代	
		¥ 600	¥ 4,850	¥ ▲4,250	討議資料・受講者用配布物印刷代	
	通信運搬費	¥ 1,000	¥ 996	¥ 4	資料、フライヤー送付費	
	使用料および賃借料	¥ 4,360	¥ 5,420	¥ ▲1,060	会場使用料 夏季WS	
	保険料	¥ 1,120	¥ 644	¥ 476	行事保険 現在1回分	
				¥ 0		
		対象経費の合計(D)	¥ 119,870	¥ 92,270	¥ 27,600	
	(その他経費)	通信サービス費	¥ 1,130	¥ 6,726	¥ ▲5,596	年間ドメイン費
		¥ 5,000	¥ 3,270	¥ 1,730	年間レンタルサーバー	
その他		¥ 16,000	¥ 4,500	¥ 11,500	会員の昼食代	
		¥ 6,000	¥ 200	¥ 5,800	会員の交通費・コインパーキング代	
		¥ 0	¥ 1,000	¥ ▲1,000	第5回なつやすみアートひろば(協賛金/広告掲載)	
				¥ 0		
	その他経費の合計額(E)	¥ 28,130	¥ 15,696	¥ 12,434		
	合計額(F) = (D + E)	¥ 148,000	¥ 107,966	¥ 40,034		

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 16,957
------------	----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 3,923	事業費の一部を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 21,000	夏季体験プログラム参加料1500円*14名
	自己資金の合計額	¥ 24,923	
市	市民活動助成金	¥ 83,043	
	合計額	¥ 107,966	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 10,000	ワークショップ外部講師謝礼（1名/K&M Green Nana's 元橋美登利様@¥10,000x1回）
		¥ 10,000	ワークショップアドバイザー謝礼 （2名/KM コミュニケーション代表 元橋和吉様   NPO法人さんま 石川静枝様@各人5000円x1回）
	消耗品費	¥ 23,338	ワークショップ食材&材料費
		¥ 5,330	文具（サインペン・用紙など）
		¥ 31,212	作業着（スタッフユニフォーム@単価2890円x10枚+消費税）
	印刷製本費	¥ 0	活動紹介パンフレット ※作成できず
		¥ 480	フライヤー印刷代 ワークショップ告知用(500部) ※単価¥2.96x500部=¥1480のところ、1000円割引クーポン使用で¥480
		¥ 4,850	討議資料・受講者用配布物印刷代（コピー代）
	通信運搬料	¥ 996	資料、フライヤー送付費 （ワークショップ外部講師元橋氏宅、アドバイザー石川氏宅へ資料送付他、関係/賛同者へのフライヤー送付）
	使用料および賃借料	¥ 5,420	会場使用料（まつど市民活動サポートセンター2日間：大会議室&調理室）
	保険料	¥ 644	行事保険（夏季ワークショッププログラム1回分） 23名分
	対象経費の合計	¥ 92,270	
その他 経費	通信サービス費	¥ 6,726	年間ドメイン費
		¥ 3,270	年間レンタルサーバー
	その他	¥ 4,500	メンバーの昼食代/会議昼食（4名分）
		¥ 200	コインパーキング代（1回分）
		¥ 1,000	第5回なつやすみアートひろば（広告掲載の協賛金）
		その他経費の合計	¥ 15,696
	合計額	¥ 107,966	



笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業

浅間台笑劇研究部

## 活動状況報告書

1 事業名称 笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業

2 実施主体

- 団体名： 浅間台笑劇研究部  
 従事者数： 23名  
 団体概要： 千葉県生涯大学校浅間台教室地域活動学部卒業生を中心に平成28年1月に発足、高齢者施設で主に笑劇公演のボランティア活動を行い、社会福祉に貢献することを目的とした団体です。

3 事業の実施内容

### I 高齢者施設でのボランティア公演

日付	内容	観客数
2019/4/26	「特別養護老人ホーム 松寿園」での公演	48
2019/4/29	「特別養護老人ホーム ひまわりの丘」での公演	35
2019/6/19	「特別養護老人ホーム まんさくの里」での公演	39
2019/6/25	「特別養護老人ホーム 明尽苑」での公演	53
2019/7/2	「ケアプラン さくら松戸」での公演	46
2019/7/21	「老人ホーム サニーライフ松戸」での公演	56
2019/7/28	「特別養護老人ホーム プレミア東松戸」での公演	48
2019/9/10	「ふれあい会食会 矢切社協」での公演	70
2019/9/15	「特別養護老人ホーム 陽だまり館」での公演	20
2019/9/18	「老人ホーム ケアパートナー五香」での公演	50
2019/9/29	「特別養護老人ホーム 秋桜」での公演	24
2019/10/9	「特別養護老人ホーム なでしこ」での公演	23
2019/11/22	「特別養護老人ホーム プレミア東松戸」での公演	28

計 540 名

### II 松戸市民劇場での公演

項目	内容
開催日	2020年1月29日
観客数	目標：100名                      実績：300名（満席）
主な事前活動	① 実行委員会開催              5回 ② チラシ・ポスターの作成と掲示・配布

	③ 広報活動 ・市内全特別養護老人ホーム ・松戸市社会福祉協議会主催全ふれあい会食会 ・市の関係部門 ・市広報誌掲載 ・ミニコミ誌掲載 ④ 公演の大小道具・衣装・音源・背景の製作 ⑤ 当日の諸準備・場内管理・舞台管理 ⑥ ゲスト出演依頼 ⑦ 稽古
実施結果	① 笑劇2プログラムとゲスト2プログラムを公演した ② 満席（300名）の集客が出来た ③ 催しに対して、来場者の反応が非常に良かった アンケート問：本日の催しはどうでしたか？ 1) とても良かった 84 (59%) 2) よかった 36 (25%) 3) もう少し 4 (3%) 4) つまらなかつた 0 (0%) 5) 未回答 18 (13%) 計 142 (100%) ④ 寄付金 が 51,461 円も集まった

### Ⅲ 新プログラムの開発と習得、道具、衣装作成

日 付	作 業 内 容
2019/9/16	シナリオ完成
2019/9/16	音楽編集 CD 作成・背景のパワーポイント作成
2018/9/21	配役決定 練習開始
～2019/10/31	大小道具・衣装製作済
2019/11/22	特養プレミア東松戸で処女公演

### Ⅳ 定例会（稽古）の継続実施

日 付	作 業 内 容
2019 年度	総会 定例会を 25 回実施

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的及び目標の達成について

● 計画時の事業の目的	<b>笑劇(Musical)の公演により、施設利用高齢者を元気にすること</b>		
● 達成状況	<p>① 13回の施設公演を通して事業の目的は十分達成できた。各施設とも割当の1時間に、前座でバルーンアートと全員での唱歌合唱を、メインとして笑劇公演を行ったが、非常に反応がよく大いに楽しんで頂いたことが実感できた。</p> <p>② 2020/1/29の「新春公演～笑劇2020」は先着300名のところ、主に70歳以上の高齢者を中心に満席となった。非常に好評（アンケートでよかったが以上84%）であり、多くの方から「楽しかった・是非継続してください」との声を頂いた。日頃の稽古・事前の準備活動・舞台の演出の工夫・ゲスト出演者の協力等が成果の要因である。</p>		
● 具体的達成状況			
事業の具体的目標	評価対象	コミットメント	実績
多く公演する	施設公演回数	10回	13回
多くの人に見てもらおう	施設延観客数	200名	540名
アンケート評価	評価A	70%	85% 回答：7 内A評価：6
松戸市民劇場公演	延べ観客数	100名	300名
新プログラムの開発	開発数	1本	1本
練習を多く行う	練習回数	12回	25回

##### (2) 取り組んだ課題の解決について

① 取り組んだ課題である「松戸市総合計画基本構想」の実現の一翼を担えた。
② 施設入居高齢者に加えて、多くの健常な高齢者にも一般公演を通して笑って頂き元気になって頂いた。
③ ボランティア公演で使用するパソコンについては、認定NPO法人イーパツが行っている「リユースPC寄贈プログラム」に応募、採択されパソコンを寄贈頂いた。
④ 解決できなかったことは特にありません。

#### 5 今後の事業展開

① 当事業が、令和2年度松戸市市民活動助成事業のステップアップ助成に再度採択された。そのプロポーザルに沿った活動を真摯に行い、事業の目標を完遂する。
② 本制度の助成金に加えて、民間のボランティア活動助成金と一般公演時の皆様からの寄付金で活動を継続していきたい。

## 収支決算書

### 【収入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 42,000	¥ 39,181	¥ 2,819	事業費の一部を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 30,000	¥ 61,461	¥ ▲31,461	公演寄付金51,461円 施設謝礼5,000円*2回
	自己資金の合計額 (A)	¥ 72,000	¥ 100,642	¥ ▲28,642	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
<b>合計額 (C) = (A+B)</b>		<b>¥ 372,000</b>	<b>¥ 400,642</b>	<b>¥ ▲28,642</b>	

### 【支出】

	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の 交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ 0	公演 コーラス2万円 ばか面 1万円
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 57,525	¥ ▲7,525	大小舞台道具制作費
		¥ 50,000	¥ 27,451	¥ 22,549	舞台衣装製作費
		¥ 10,000	¥ 2,017	¥ 7,983	プリンターインク代
		¥ 7,000	¥ 5,937	¥ 1,063	文具費
		¥ 5,500	¥ 0	¥ 5,500	演目音源代 (使用料及び賃借料にて計上)
		¥ 12,000	¥ 7,494	¥ 4,506	バルーンアート 風船代 他
	委託費	¥ 36,000	¥ 42,000	¥ ▲6,000	施設までの大道具運搬費 3,000円*14回
	使用料及び賃借料	¥ 12,000	¥ 5,400	¥ 6,600	定例会 練習 会場費
		¥ 42,000	¥ 91,000	¥ ▲49,000	音響 造形 機材 リース代 7,000円*13回
		¥ 0	¥ 7,506	¥ ▲7,506	演目音源代 ばか面 CD他
		¥ 0	¥ 19,620	¥ ▲19,620	背景画像使用料
		¥ 20,000	¥ 19,782	¥ 218	公演 市民劇場利用料
		¥ 30,000	¥ 24,591	¥ 5,409	公演 照明 音響 スタッフ人件費
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 25,740	¥ ▲5,740	公演ポスター 150枚 チラシ 5,000枚 他
	通信費	¥ 7,500	¥ 4,340	¥ 3,160	アンケート 公演ポスター、チラシ施設に郵送
	食糧費	¥ 30,000	¥ 22,908	¥ 7,092	ゲスト屋食 お茶
	¥ 362,000	¥ 393,311	¥ ▲31,311		
(その他 対象外)経費	雑費	¥ 10,000	¥ 7,011	¥ 2,989	会員お茶代 公演手伝い屋食 お茶代
		¥ 0	¥ 320	¥ ▲320	木材加工サービス料
	その他経費の合計額 (E)	¥ 10,000	¥ 7,331	¥ 2,669	
<b>合計額 (F) = (D+E)</b>		<b>¥ 372,000</b>	<b>¥ 400,642</b>	<b>¥ ▲28,642</b>	

#### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	<b>¥ 0</b>
------------	------------

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	部員年会費	¥ 39,181	事業費の一部を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 61,461	公演寄付金51,461円 施設謝礼5,000円*2回
	自己資金の合計額	¥ 100,642	
市	市民活動助成金	¥ 300,000	
合 計 額		¥ 400,642	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	コーラス 2万円 ばか面 1万円 公演 ゲスト出演謝礼金
	消耗品費	¥ 57,525	刀2本 舟用台車3台 他 大小舞台道具制作費
		¥ 27,451	着物 浴衣 3着 小人用生地 かつら 他 舞台衣装制作費
		¥ 2,017	印材代 2,017円 プリンターインク代
		¥ 5,937	PR用 録画DVD 20枚 他 文具費
		¥ 0	演目音源代（使用料及び賃借料にて計上）
		¥ 7,494	風船 700本 動物用目玉 200枚 バルーンアート
	委託費	¥ 42,000	施設13回 公演1回 3,000*14回 施設までの大小道具運搬費
	使用料及び賃借料	¥ 5,400	サポセン 7回 (公民館は無料) 定例会 練習 会場費
		¥ 91,000	施設訪問 13回*7,000 音響 造影 機材 リース代
		¥ 7,506	ばか面 CD 演目音源 8曲 演目音源代
		¥ 19,620	舞台背景写真 20点 背景画像使用料
		¥ 19,782	1月28日 17:20~21:00 1月29日 8:50~16:30 公演 市民劇場利用料
		¥ 24,591	照明セット 拡声装置 他 公演 照明 音響 スタッフ人件費 他
	印刷製本費	¥ 25,740	ポスター 150枚 チラシ 5,000枚 他 公演 ポスター チラシ プログラム
	通信費	¥ 4,340	公演DM 施設アンケート アンケート 公演資料郵送
食糧費	¥ 22,908	コーラス 33名*498円 ばか面 13名*498円 ゲスト昼食（含むお茶）	
	対象経費の合計	¥ 393,311	
その他経費	雑費	¥ 7,011	公演手伝い者10名*498円 他 部員菓子代 公演 手伝い者昼食
		¥ 320	木材加工サービス料
	その他経費の合計	¥ 7,331	
合 計 額		¥ 400,642	111

生活圏に「お節介な友達作り」  
活動推進事業

介護・認知症の家族と歩む会・松戸

# 活動状況報告書

1 事業名称 生活圏に「お節介な友達作り」活動推進事業

## 2 実施主体

■ 団体名：介護・認知症の家族と歩む会・松戸

従事者数：7名

団体概要：超少子高齢社会の解消されることの無い、認知症や介護の不安軽減を目指して活動しています。積極的に身近で支える人の必要性を、より地域に密着してアピールしてきました。地域で、笑顔で安心して暮らし続けるために、互助の復活を願い、認知症講座・おしゃべり広場・地域交流会・訪問相談・公開相談会を実施し、更に周辺市の団体・事業所等の協力を得てフォーラムを実施しています。

## 3 事業の実施内容

### I-1 おしゃべり広場

日付	作業内容			
4月1日	事業企画打ち合わせ			
4月2日～5日	チラシの企画及び作成			
4月5日～	チラシ・ハガキ・の印刷 毎月定期的に配布			
4月10日	松戸市市民活動サポートセンター	2人	参加者	3人
5月8日	同上	3人	参加者	1人
6月12日	同上	2人	参加者	2人
7月10日	同上	3人	参加者	2人
8月21日	同上	2人	参加者	1人
9月11日	同上	3人	参加者	2人
10月9日	同上	2人	参加者	4人
11月13日	同上	2人	参加者	5人
12月11日	同上	2人	参加者	0人
1月29日	同上	3人	参加者	2人
2月12日	同上	3人	参加者	2人
3月11日	※コロナウイルス感染症拡大予防のため中止			
	計	11回	27人	参加者 24人

### I-2 相談会・交流会

日付	作業内容			
4月1日	事業企画打ち合わせ			
4月2日～5日	チラシ・ハガキ企画及び作成			
4月5日～	チラシ・ハガキの印刷 配布毎月			
5月11日	三世院	3人	参加者	4人

5月16日	サイゼリア北松戸	2人	参加者	2人
6月7日	ガスト古ヶ崎	2人	参加者	3人
6月12日	聖徳大学2F	4人	参加者	6人
7月9日	サイゼリア八柱	2人	参加者	4人
7月12日	本土寺	5人	参加者	7人
8月9日	サイゼリア北松戸	2人	参加者	4人
9月9日	イオン北小金	2人	参加者	5人
9月20日	名都借福社会館	3人+講師	参加者	6人
	講師 看護師 山本氏			
10月8日	サイゼリア常盤平店	2人	参加者	2人
10月15日	ココス六高台	2人	参加者	3人
11月16日	ぐらんどめいと松戸	4人+講師	参加者	9人
	講師 看護師 山本氏			
11月26日	高柳近隣センター	2人	参加者	4人
12月13日	サイゼリア八柱	2人	参加者	3人
12月23日	三世院	3人	参加者	5人
	<b>計</b>	<b>15回</b>	<b>40人</b>	<b>参加者 67人</b>

I-3 講座

日付	作業内容			
4月1日～2日	事業企画打ち合わせ			
4月2日～5日	チラシの企画及び作成			
4月5日～	チラシ・ハガキ等の印刷 配布開始 毎月			
4月10日	市民活動サポートセンター	3人	参加者	11人
5月8日	市民活動サポートセンター体験会	5人+講師	参加者	18人
	講師 行政書士 大久保氏			
6月12日	常盤平市民センター	3人	参加者	11人
7月10日	馬橋市民センター	3人	参加者	14人
8月21日	ふれあい22・体験会	5人	参加者	28人
	講師 行政書士 大久保氏			
9月11日	市民活動サポートセンター	3人	参加者	8人
10月9日	常盤平市民センター	4人+講師	参加者	9人
	講師 看護師 山本氏			
11月13日	馬橋市民センター	4人	参加者	9人
12月11日	ふれあい22	5人	参加者	12人
1月29日	市民活動サポートセンター	3人	参加者	6人
2月12日	常盤平市民センター	3人	参加者	8人
3月11日	※コロナウイルス感染症拡大予防のため中止			
	<b>計</b>	<b>11回</b>	<b>41人</b>	<b>参加者 134人</b>

## I-4 訪問相談

日 付	作 業 内 容		
4月1日～2日	事業企画打ち合わせ		
4月2日～5日	チラシの企画及び作成		
4月5日～	チラシ・はがきの印刷	定期配布等	毎月
4月12日	イーストパーク胡録台	3人	参加者5人
4月24日	ファミリーユ五香	2人	参加者4人
〃	小金原コーポラス	2人	参加者2人
5月29日	中央パークハイツ	2人	参加者6人
6月14日	サーバス常盤公園	2人	参加者5人
6月21日	常盤平ハイツ	2人	参加者4人
7月20日	ベルビア北松戸	2人	参加者2人
〃	小金原団地	2人	参加者4人
7月29日	六高台ハイツ	3人	参加者2人
8月5日	ベルデゾーナ新八柱	2人	参加者4人
8月29日	幸田住宅	2人	参加者5人
9月17日	プロムナード北松戸	3人	参加者2人
9月28日	近鉄六実ハイツ	2人	参加者4人
10月15日	松戸グリーンコーポ	2人+講師	参加者5人
	講師 行政書士 大久保氏		
10月18日	六高台スクエア	2人	参加者3人
〃	アベニュー北小金	2人	参加者6人
11月1日	六高台サンハイツ	2人	参加者4人
11月16日	千代田アネックスビラ	2人	参加者3人
12月9日	高塚団地	2人	参加者4人
12月10日	日神プレステージ松戸	2人	参加者6人
〃	松戸コープ六実	2人	参加者3人
	計 21回	45人	参加者83人
各日	個人宅 36軒	56人	相談者累計141人

## 4 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

「おしゃべり広場」については、毎月開催しましたがPR不足と会場の設定を誤り、思ったような集客や成果を得ることができませんでした。開催回数は11回で、目標の10回を達成しました。

「相談会・交流会」は、自宅に閉じ籠りがちな介護者の外出機会の提供・ご相談・不安解消と情報提供をしました。同時に、同じ悩みや不安を持つ家族同士の連帯意識・支え合いを目指しました。目標は80%以上達成できたと思います。開催回数15回でした。

「講座」については、参加者が計画を大きく上回る134人、これは広報まつど・新聞折り込み・ハガキ等の効果もありますが、メンバーの地道な声掛け・ポスティングによる成果をとらえています。開催回数11回を達成できました。

「訪問相談」については、相談会等を行うなかで要望があり実施しました。施設訪問が21回、個人宅が36軒であり、個別の相談に対応しました。

### (2) 事業課題の解決について

「おしゃべり広場」で其々が身近な話題をお茶を飲みながら気楽に話し合い、「知り合い」から「お友達」にすると計画しましたが、なかなかうまくいきませんでした。気軽に集まれる会場の設定が出来なかったことが原因であったと思うので、現在、民間の商業施設でのスペースを確保するため交渉中です。

「相談会・交流会」で、繋がることのできた家族の方々にも交流会等の運営に携わってもらうことが究極の目標ですので、今後も繋がることのできた家族と交流を継続します。

「講座」では、少子高齢社会が進行するなかで、ますます認知症をはじめとする介護の情報提供が必要不可欠となり、イベント的PRも必要だと思います。我々は一人一人と向き合う活動を続けていきます。そこから、次の人たちへ、隣近所の人たちへと繋がることを確信して進みます。令和2年度は個人の生活圏・商業施設等・市民が自由に立ち寄れる空間での活動に注力します。

「訪問相談」では、予想以上の件数になり、内容もかなり複雑な人間関係課題を含む事柄が多かったです。団体として取り組むべきことですので、継続していこうと思います。複雑な人間関係等を公平な立場でアドバイス・支援できる機関が身近に存在したら、もっと前向きに暮らせるのにと、それまでの不安・葛藤・悩みの緩衝材的役割と言い聞かせる活動に、達成度評価は難しいと考えています。

## 5 今後の事業展開

令和2年度は、「おしゃべり広場」の開催場所を民間の商業施設のオープンスペースに変更する。

「地域交流会」は、介護者の気分転換も含めて、ちょっと立ち寄りことができる場所のような形で継続していきたいです。

「公開相談」は、市民活動団体立ち上げ講座・個人参加等の呼びかけるためのイベントを開催する。

「認知症などの講座」は、地域・ボランティア・市民活動に関心のある個人・各種団体・企業に対して声掛けをするとともに、異業種交流会等にも参加して、福祉という枠にとらわれずアピールしていきます。

「訪問相談」は、課題が多いですが、より地域に密着し、地道に仲間の輪を拡げて行きます。訪問後に、おしゃべり広場・公開相談・交流会・講座等への参加に期待しています。地域・ボランティア・市民活動に関心のある個人・各種団体・企業に声掛けをするとともに、異業種交流会等にも参加して、福祉という枠にとらわれずに、生活圏内の市民参加型イベントをアピールし、お節介な仲間づくりの機会提供をしていきます。

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 40,000	¥ 7,154	¥ 32,846	事業費の一部を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 35,000	¥ 48,000	¥ ▲13,000	500円×96人 講座参加費
	自己資金の合計額 (A)	¥ 75,000	¥ 55,154	¥ 19,846	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 200,000	¥ 200,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 275,000	¥ 255,154	¥ 19,846	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 15,000	¥ 27,000	¥ ▲12,000	4000円×3回 5000円×3回
	印刷製本費	¥ 50,000	¥ 28,475	¥ 21,525	講座他 資料・チラシ・ポスター他
	消耗品費	¥ 34,800	¥ 36,272	¥ ▲1,472	A3、A4コピー用紙・インク・封筒他
	通信費	¥ 115,200	¥ 119,600	¥ ▲4,400	切手862枚・ハガキ600枚他
	委託費	¥ 48,000	¥ 43,807	¥ 4,193	新聞折り込み10回 掲載3回
	使用料	¥ 12,000	¥ 0	¥ 12,000	公用のため支出せず
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 275,000	¥ 255,154	¥ 19,846	
(その他経費)				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 275,000	¥ 255,154	¥ 19,846	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 7,154	事業費の一部を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 48,000	500円×96人 講座参加費
	自己資金の合計額	¥ 55,154	
市	市民活動助成金	¥ 200,000	
	合計額	¥ 255,154	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 27,000	4000円×3回（看護師 山本氏） 5000円×3回（行政書士 大久保氏）
	印刷製本費	¥ 28,475	資料・折り込み・ポスティング・掲示・郵送他 両面・多色20,000枚 ハガキ600枚
	消耗品費	¥ 36,272	A3, A4コピー用紙16包・インク16個・封筒他
	通信費	¥ 119,600	講座等案内他 切手862枚・ハガキ600枚他
	委託費	¥ 43,807	新聞折り込み10回 掲載3回
	対象経費の合計	¥ 255,154	
その他 経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
	合計額	¥ 255,154	

市民の権利擁護に関する  
啓蒙普及事業

一般社団法人  
コスモス成年後見サポートセンター  
千葉県支部

## 活動状況報告書

1 事業名称 市民の権利擁護に関する啓蒙普及事業

2 実施主体

■団体名：一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター千葉県支部

従事者数：26名

団体概要：千葉県内の高齢者、障害者等（以下「高齢者等」という。）が自らの意思に基づいた日常生活が過ごせるよう、権利の擁護と財産の管理等について支援することにより高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として、平成25年10月25日、日本行政書士会連合会の主導の下に設立された。会員は全て千葉県内に事務所を有する行政書士で構成され、令和1年9月1日現在の会員数は98名。

3 事業の実施内容

I 新松戸地域での実施

日付	作業内容
4月10日～12日	事業企画打ち合わせ、チラシの企画及び作成
4月12日	チラシの印刷
4月12日、4月22日	新松戸地域包括支援センターと進行の打合せ
4月22日	市の広報掲載依頼（5月15日号）
4月22日～5月17日	チラシ配布・訪問等のPR活動
5月21日	講師との講演会打合せ
5月28日	講演会及びワークショップの実施 新松戸市民センター 講師：あおぞら診療所新松戸 医師 星野大和氏 参加者35人

II 松戸本庁地域での実施

日付	作業内容
4月10日～12日	事業企画打ち合わせ、チラシの企画
4月23日、5月10日	本庁地域包括支援センターと進行の打合せ（電話では随時）
5月10日	チラシの作成、印刷
5月10日～6月3日	チラシ配布・訪問等のPR活動
5月20日	講師との講演会打合せ

6月4日	講演会及びワークショップの実施 松戸市民会館 講師：東葛総合法律事務所 所長 弁護士 蒲田孝代氏 参加者26人
------	--

## II 常盤平地域での実施

日付	作業内容
4月10日～12日	事業企画打ち合わせ、チラシの企画
5月13日、5月16日	本庁地域包括支援センターと企画と進行の打合せ（電話では随時）
5月18日	チラシの作成
5月23日～6月13日	チラシ配布・訪問等のPR活動
5月31日、6月12日	講師との講演会打合せ
6月15日	講演会及びワークショップの実施 常盤平市民センター 講師：三和病院顧問 医師 高林克日己氏 参加者71人

### 4 事業成果について

#### (1) 事業目的及び目標の達成について

自分自身や生計において支柱となる親族が死に直面する状況を想定して、その時に現れる様々な課題のうち、特に「介護」「医療」「死亡時の手続」「死後の事務」について、医師や弁護士といった専門家から現場での事例を交えながらわかりやすい講義をいただき、また「その時」の課題解決に有用なエンディングノートの作成のワークショップを通じて、何が課題となるか、その課題についてどのような意思表示を残すことが重要か、ということについて参加者の理解を深めることができた。

なお、参加者数は実施3会場の合計で132名となり、当初の目標を達成することができた。また、準備したエンディングノートも、打合せ時の説明用、当日参加者及びスタッフ使用分、さらに参加者持ち帰り用として合計308冊が使用された。こちらも当初予想に近い数字となった。

#### (2) 取り組んだ課題の解決について

「死」に際した市民が「介護」「医療」「死亡時の手続」「死後の事務」について抱える課題は、単独で解決できるものではなく、福祉・医療・法律と行政が緊密に連携して解決する必要がある、ということについて、参加した市民のみならず、講師として協力をいただいた医師や弁護士、また企画や動員に協力をいただいた地域包括支援センターにもご理解いただき、事業終了後にご相談いただく市民からの権利擁護に関する問題に具体的に踏み込

む際に、あらかじめ医療・福祉・行政の担当者と協力体制を作りながら、より適切な本人支援に取り組めるようになりつつある。

#### 5 今後の事業展開

市民の権利擁護を図るうえで医療・福祉・行政と法律の連携は今後ますます重要となってくると思われることから、引き続きその重要性を理解していただくため、エンディングノートを利用した周知活動を継続するとともに、松戸市内で活動を行っている医療・福祉の事業者等とさらに連携を深めることができるようなイベントを企画・実施したいと考える。

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 284,100	¥ 84,082	¥ 200,018	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 284,100	¥ 84,082	¥ 200,018	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 193,542	¥ 106,458	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 584,100	¥ 277,624	¥ 306,476	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 210,000	¥ 150,000	¥ 60,000	外部講師謝礼 (医師、弁護士各5万円) *3回
	消耗品費	¥ 40,250	¥ 0	¥ 40,250	エンディングノート用の紙代は印刷製本費に含まれるため。また、チラシ・レジюме・アンケート用の紙代は領収書不備のため対象外経費とする。
		¥ 7,500	¥ 1,838	¥ 5,662	名札 108円*15個 ゼロテープカッター 218円
	食糧費	¥ 45,600	¥ 0	¥ 45,600	参加者用お菓子を提供しなかったため。また、講師お茶代は領収書不備のため対象外経費とする。
	印刷製本費	¥ 205,000	¥ 46,090	¥ 158,910	エンディングノートの印刷費 2,000部
		¥ 11,250	¥ 15,599	¥ ▲4,349	チラシ・レジюме・アンケートの印刷費 白黒1.5円*6,356枚 (税別) カラー9.5円*582枚 (税別)
	使用料	¥ 4,500	¥ 1,520	¥ 2,980	会場使用料 (松戸市民会館) うち機材レンタル680円
				¥ 0	
		対象経費の合計 (D)	¥ 524,100	¥ 215,047	¥ 309,053
(その他) 経費 (対象外)	交通費	¥ 30,000	¥ 23,680	¥ 6,320	会員交通費
	活動費	¥ 30,000	¥ 34,150	¥ ▲4,150	会員日当 1,000円*10人*2回 印刷製本費振込手数料 150円
	食糧費		¥ 480	¥ ▲480	講師お茶代 160円*3本
	消耗品費		¥ 4,267	¥ ▲4,267	紙 (チラシ・レジюме・アンケート用として) 0.615円*6,938枚
		その他経費の合計額 (E)	¥ 60,000	¥ 62,577	¥ ▲2,577
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 584,100	¥ 277,624	¥ 306,476	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 106,458
------------	-----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 84,082	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 84,082	
市	市民活動助成金	¥ 193,542	
合計額		¥ 277,624	

## 【支出】

科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 150,000 外部講師謝礼 講師名 星野大和氏 50,000円×1回 (5/28) 講師名 蒲田孝代氏 50,000円×1回 (6/4) 講師名 高林克日己氏 50,000円×1回 (6/15)
	消耗品費	¥ 1,838 事業用消耗品費 名札 108円×15個 セロテープカッター 218円×1個
	印刷製本費	¥ 46,090 エンディングノート印刷費 23.04円×2,000部 (デモ用、当日使用分、個人・機関配布分)
		¥ 15,599 レジュメ、アンケートの印刷費 白黒 1.5円×6,356枚(税別) カラー 9.5円×582枚(税別) ※内訳に消費税を加えた金額となるが、一部税抜の金額で領収書が発行されているため、単に8%加えた額ではない
	使用料	¥ 1,520 松戸市民会館 201会議室 (6/4) 会場使用料 840円 機材使用料 680円
	対象経費の合計	¥ 215,047
その他 経費	交通費	¥ 23,680 会員交通費 6,220円+5,160円+12,300円
	活動費	¥ 34,150 会員日当 1,000円×10人×2回 1,000円×14人×1回 印刷製本費振込手数料 150円
	食糧費	¥ 480 講師用お茶 160円×3個
	消耗品費	¥ 4,267 広告チラシ及びレジュメ・次第・アンケート印刷紙代 0.615円×6,938部(税込) 新松戸 チラシ284部 レジュメ15P×41部 次第41部 本庁 チラシ208部 レジュメ2P×40部 次第40部 常盤平 チラシ90部 レジュメ58P×90部 次第90部 アンケート90部
	その他経費の合計	¥ 62,577
合計額	¥ 277,624	